

『館山市の公共施設に関する市民アンケート』調査結果

1 調査概要

「館山市公共施設等総合管理計画」の策定にあたり、公共施設の利用状況や今後の公共施設のあり方等に対する意識を明らかにし、計画策定の基礎資料とするため、**市民アンケート調査**を実施しました。

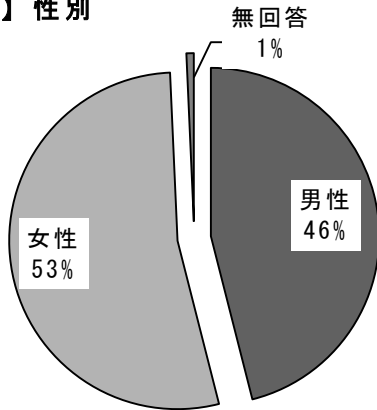
調査の概要は以下のとおりです。

調査対象	2,000人 ※ 平成28年6月1日時点で <u>満18歳以上</u> ※ 性別・年齢・地域を考慮した上で無作為抽出
調査方法	郵送による発送・回収（無記名）
調査期間	平成28年8月3日（水）～平成28年8月22日（月）
回収状況	回答数 706人 回答率 35.3%
調査内容	全14問 <ul style="list-style-type: none">● 回答者の属性 【問1～問6】● 公共施設の利用状況（利用頻度・利用しない理由）【問7】● 現状の公共施設に対する意識（充実度等） 【問8】● 公共施設の全体的なあり方（将来像）について【問9】 （拡充・維持・削減等）● 施設拡充・維持する場合の全体方策について 【問10】● 個別施設の今後のあり方について 【問11】 （拡充・維持・削減等）● 削減（廃止等）する場合の優先順位について 【問12】● 学校施設の今後のあり方について 【問13】 （維持・統合等）● 公共施設に対する自由記述 【問14】

2 調査結果

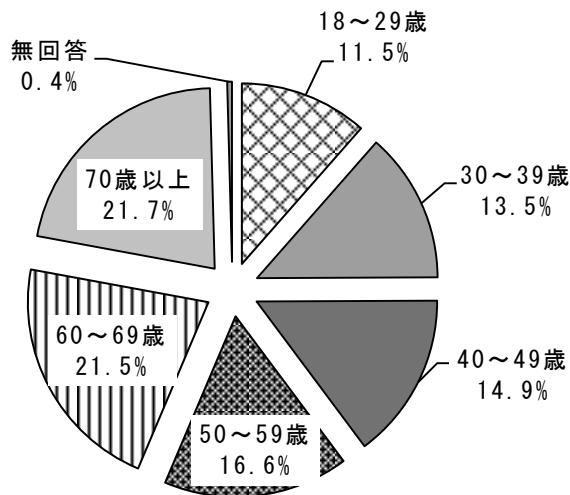
(1) 回答者の属性

【問1】性別



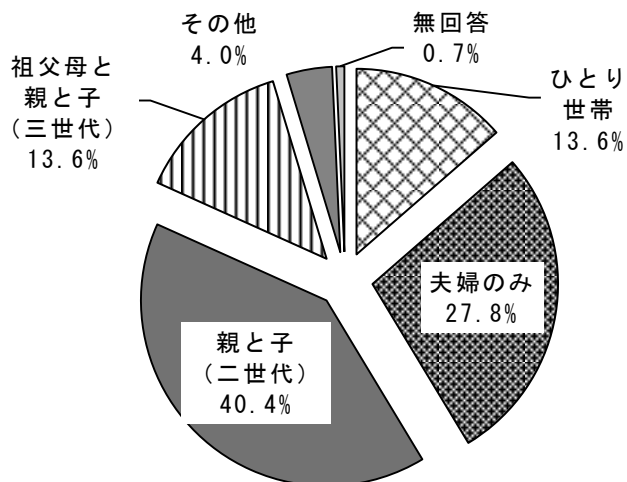
性別	人数	割合
男性	325	46.0%
女性	376	53.0%
無回答	5	1.0%

【問2】年齢区分



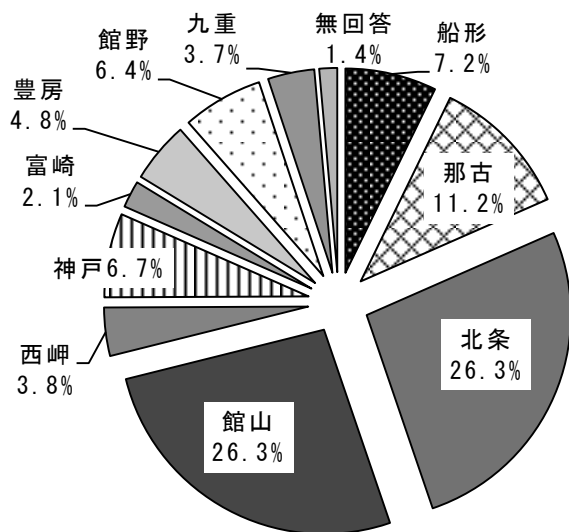
区分	人数	割合
18~29歳	81	11.5%
30~39歳	95	13.5%
40~49歳	105	14.9%
50~59歳	117	16.6%
60~69歳	152	21.5%
70歳以上	153	21.7%
無回答	3	0.4%

【問3】家族構成



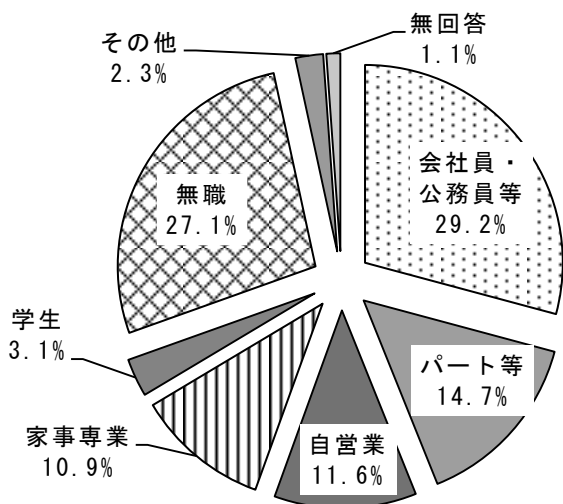
区分	人数	割合
ひとり世帯	96	13.6%
夫婦のみ	196	27.8%
親子(二世帯)	285	40.4%
祖父母と親子(三世帯)	96	13.6%
その他	28	4.0%
無回答	5	0.7%

【問4】居住地区



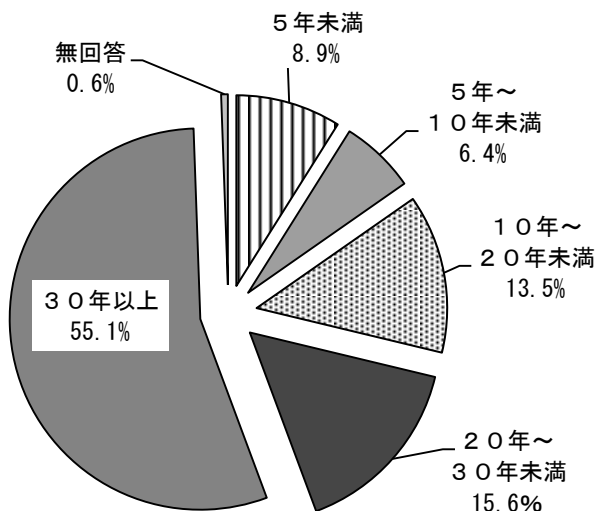
地区名	人数	割合
船形	51	7.2%
那古	79	11.2%
北条	186	26.3%
館山	186	26.3%
西岬	27	3.8%
神戸	47	6.7%
富崎	15	2.1%
豊房	34	4.8%
館野	45	6.4%
九重	26	3.7%
無回答	10	1.4%

【問5】職業



区分	人数	割合
勤め人 (会社員・公務員等)	206	29.2%
パート・アルバイト・派遣社員等	104	14.7%
自営業	82	11.6%
家事専業	77	10.9%
学生	22	3.1%
無職	191	27.1%
その他	16	2.3%
無回答	8	1.1%

【問6】館山での居住年数



区分	人数	割合
5年未満	63	8.9%
5年~10年未満	45	6.4%
10年~20年未満	95	13.5%
20年~30年未満	110	15.6%
30年以上	389	55.1%
無回答	4	0.6%

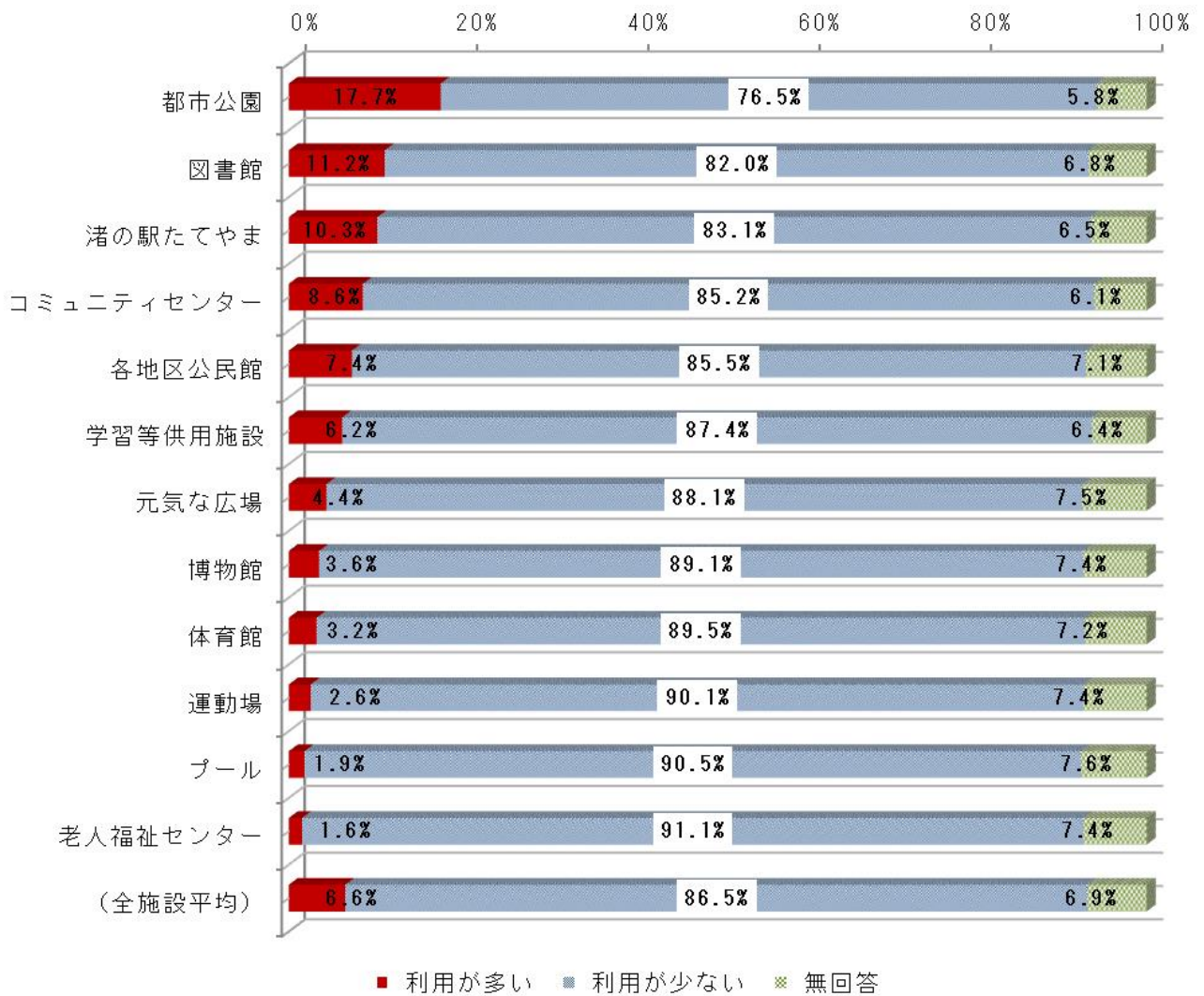
(2) 公共施設の利用頻度について

【問7-1】 『あなたとあなたのご家族（世帯単位）』は、過去1年間で公共施設をどのくらい利用しましたか。

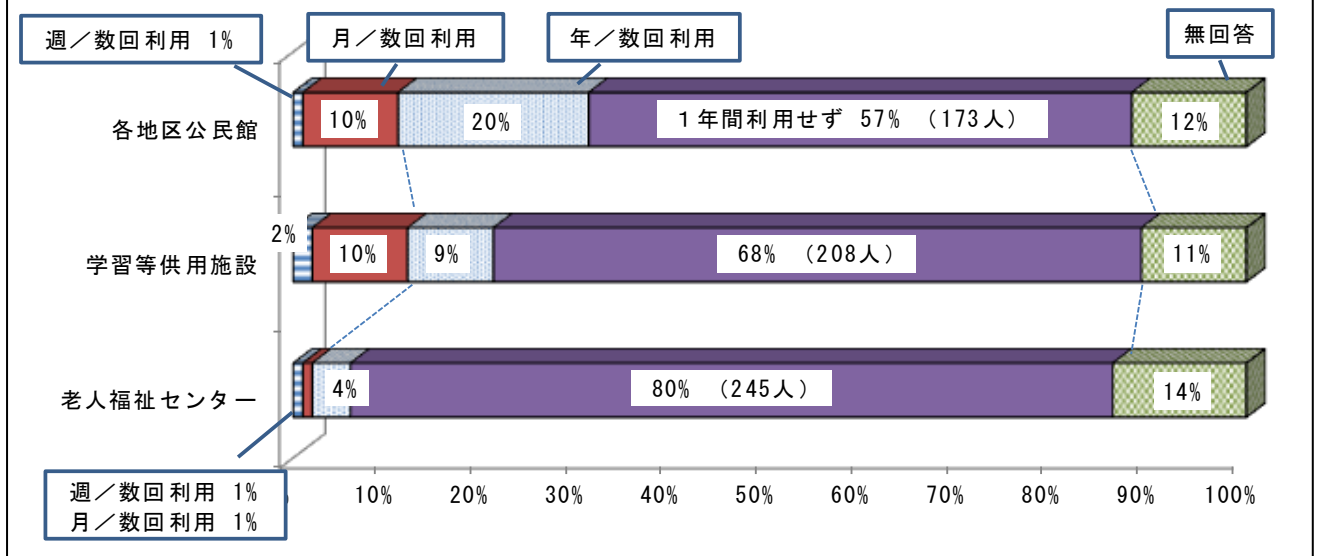
■■■ 回答結果 （※ 利用率の高い施設順）

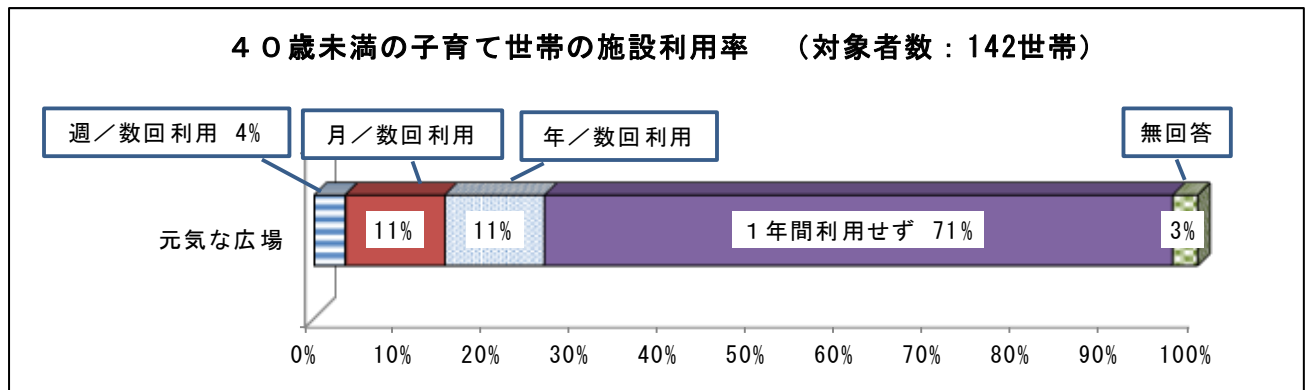
施設名	利用が多い		利用が少ない		無回答
	(週/回数)	(月/回数)	(年/回数)	(利用せず)	
都市公園	17.7% (4.5%)	(13.2%)	76.5% (41.2%)	(35.3%)	5.8%
図書館	11.2% (1.1%)	(10.1%)	82.0% (21.8%)	(60.2%)	6.8%
渚の駅たてやま	10.3% (0.7%)	(9.6%)	83.1% (42.6%)	(40.5%)	6.5%
コミュニティセンター	8.6% (3.1%)	(5.5%)	85.2% (29.7%)	(55.5%)	6.1%
各地区公民館	7.4% (1.0%)	(6.4%)	85.5% (18.1%)	(67.4%)	7.1%
学習等供用施設	6.2% (1.0%)	(5.2%)	87.4% (10.5%)	(76.9%)	6.4%
元気な広場	4.4% (1.1%)	(3.3%)	88.1% (4.2%)	(83.9%)	7.5%
博物館	3.6% (0.6%)	(3.0%)	89.1% (28.6%)	(60.5%)	7.4%
体育館	3.2% (1.4%)	(1.8%)	89.5% (4.2%)	(85.3%)	7.2%
運動場	2.6% (0.6%)	(2.0%)	90.1% (8.9%)	(81.2%)	7.4%
プール	1.9% (0.6%)	(1.3%)	90.5% (7.6%)	(82.9%)	7.6%
老人福祉センター	1.6% (0.6%)	(1.0%)	91.1% (2.1%)	(89.0%)	7.4%
全施設（平均値）	6.6% (1.4%)	(5.2%)	86.5% (18.3%)	(68.2%)	6.9%

施設利用率の状況 (※ 全回答集計値)



高齢世代（60歳以上）の施設利用率 (対象者数：305世帯)





【 分析結果 】

■ 全ての施設について、利用が少ない（過去一年間において、数回の利用又は一度も利用しない世帯）が、75%を超過しており、全体的な公共施設の利用率が、きわめて低い状況である。

■ 利用が比較的高い施設（週数回又は月数回利用している）は、①都市公園（17.7%）②図書館（11.2%）③渚の駅たてやま（10.3%）となっており、いずれも不特定多数が利用する施設であり、無料で入場できる施設である。

■ 利用が低い施設は、①老人福祉センター（1.6% ※60歳以上でも2.6%）②プール施設（1.9%）③運動場（2.6%）となっており、利用者がある程度限られる施設であり、有料の施設である。

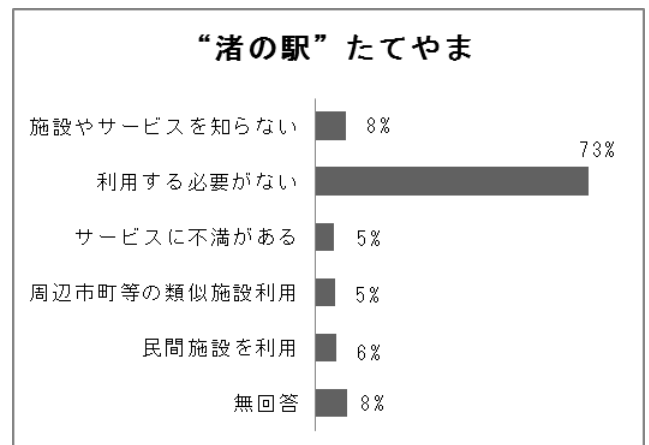
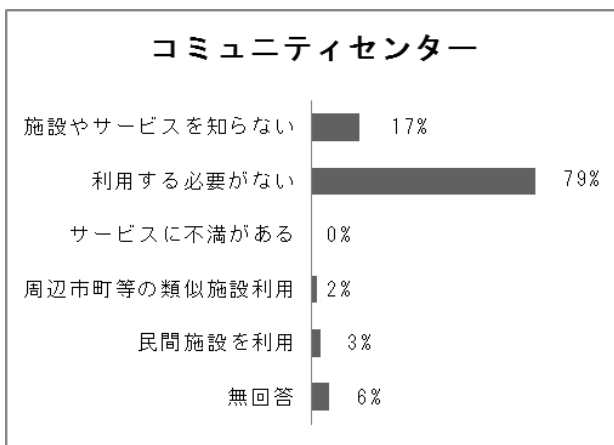
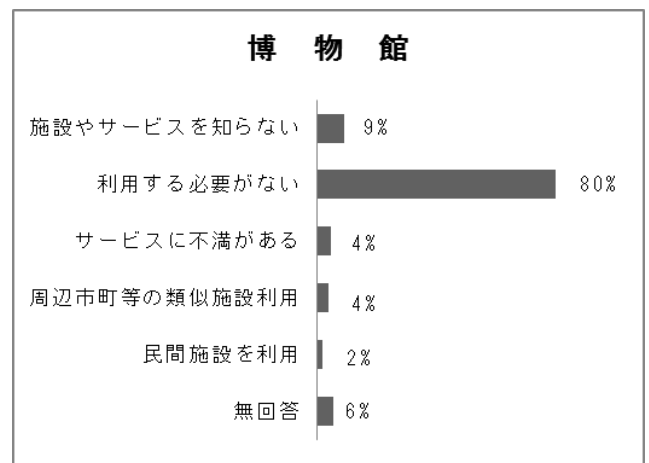
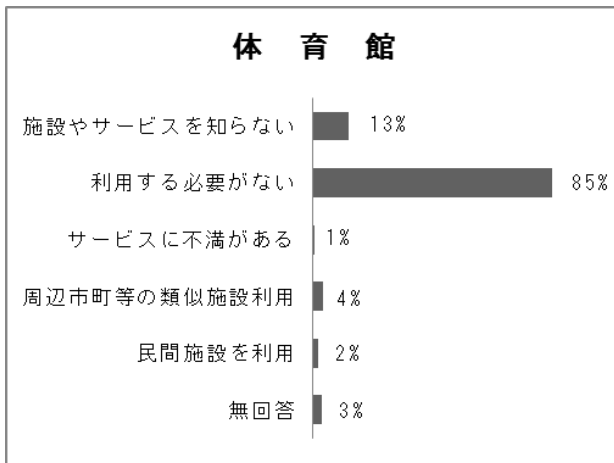
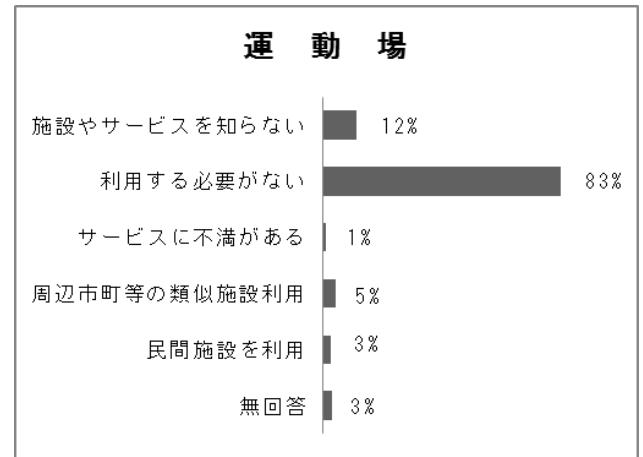
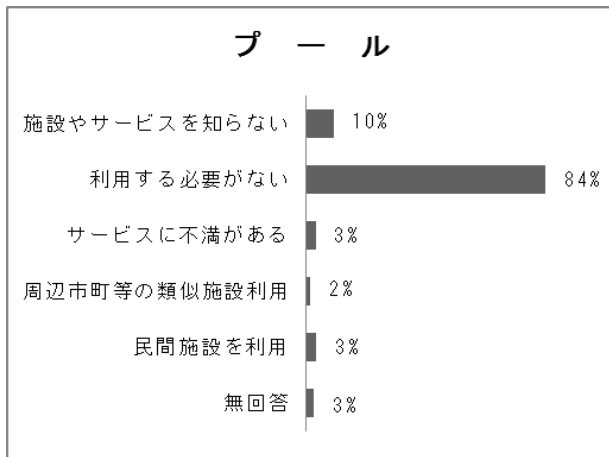
■ 利用者が限定される施設において、その対象世代のみの利用状況を集計したところ、高齢者向け施設である「老人福祉センター」では、60歳以上世帯のうち主に利用している割合（月/数回程度）は2.6%、年間一度も利用しない世帯は80%となっており、利用世代のみの集計においても、利用率は極めて低いことがわかる。

一方、「元気な広場」を主に利用する、子育て世帯の集計では、主に利用している割合（月/数回程度）は14.8%となっており、比較的高い利用率といえる。

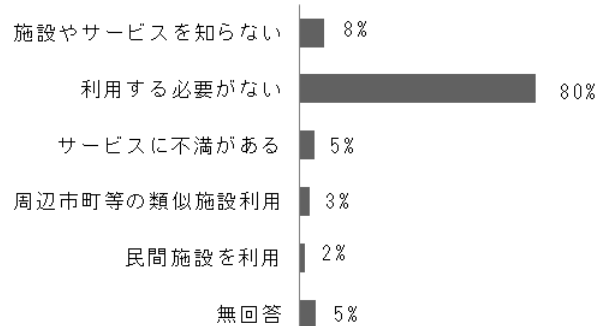
【問7-2】 問7-1で「年に数回程度」または「利用していない」を選択した方に伺います。施設を利用しなかった理由として、当てはまる理由すべてに○をつけてください。

（設問趣旨）施設利用をしなかった理由を問うことで、『施設のサービスやPR手法に課題があるのか』又は、『そもそもの市民ニーズが少ない施設なのか』を分析するための設問

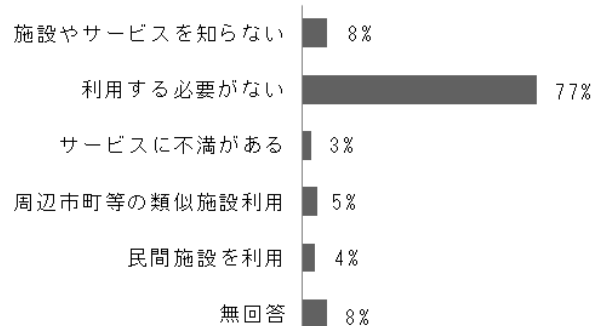
■■■ 回答結果（施設別集計 ※ 複数回答可のため、割合の総和は100%を超過）



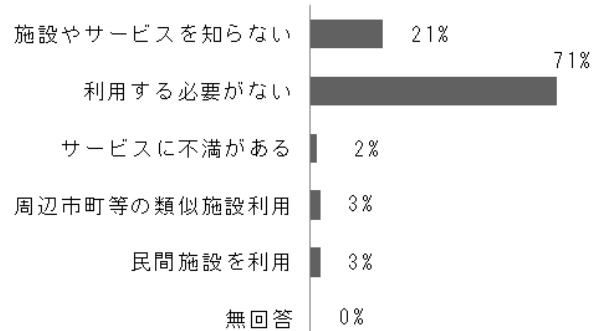
図書館



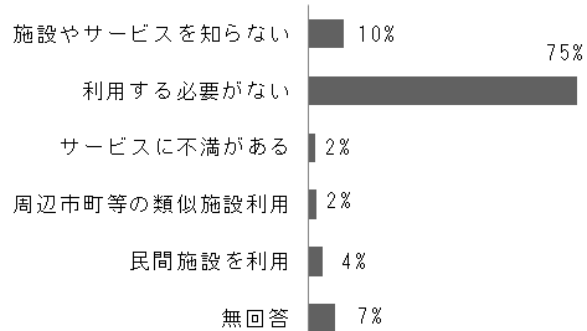
都市公園



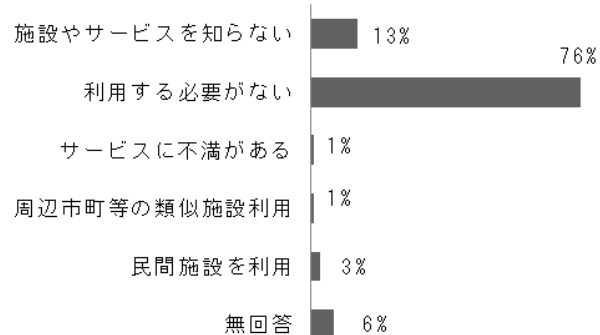
元気な広場（子育て世帯のみ）



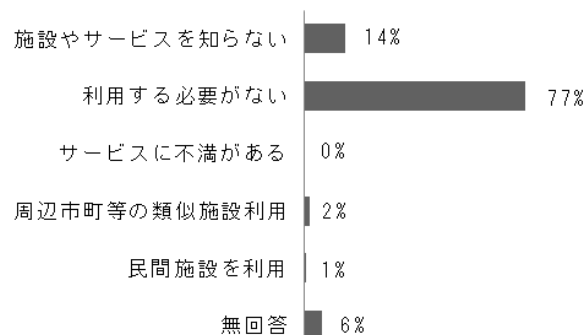
各地区公民館（高齢世代のみ）



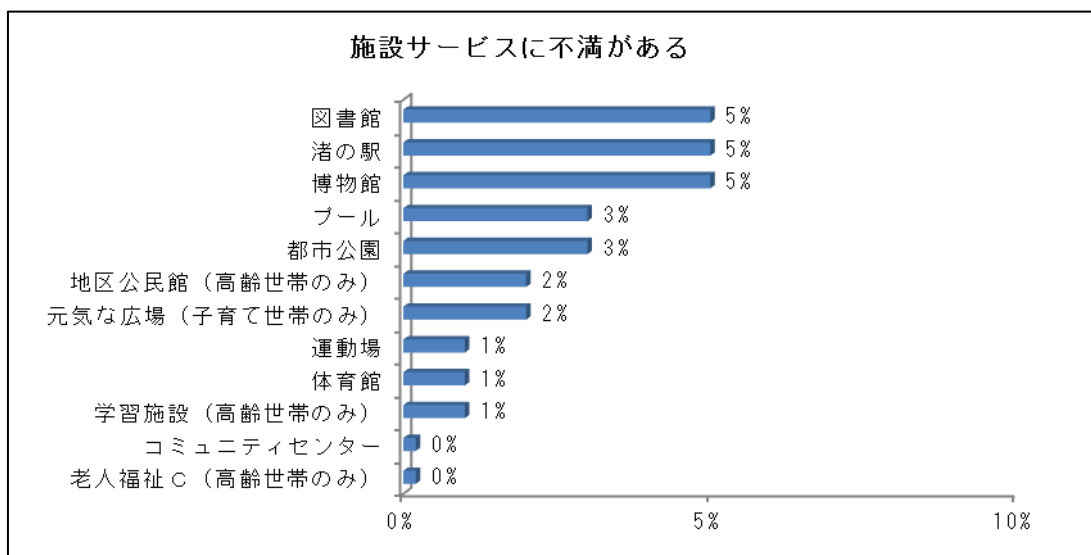
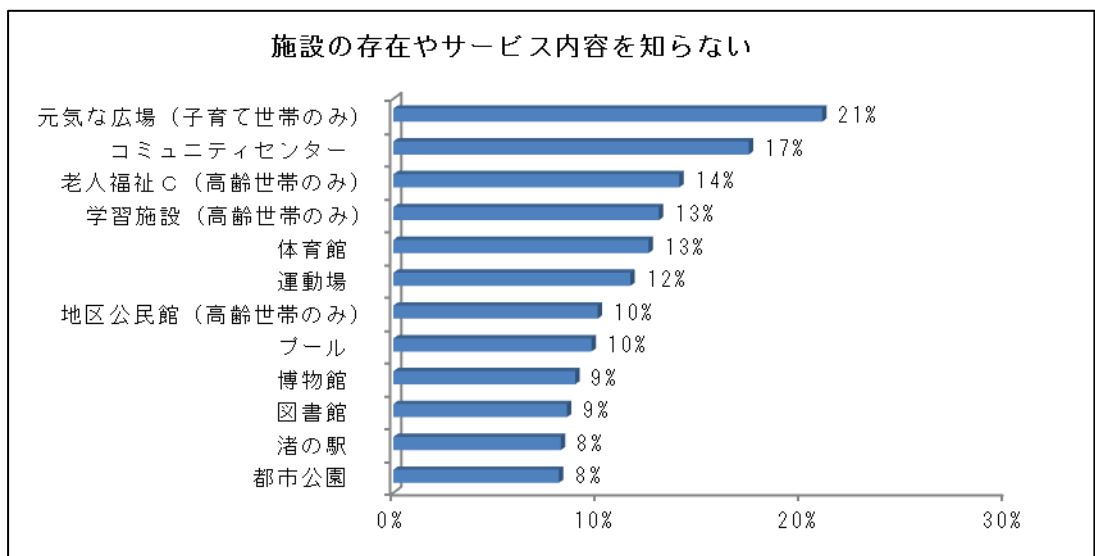
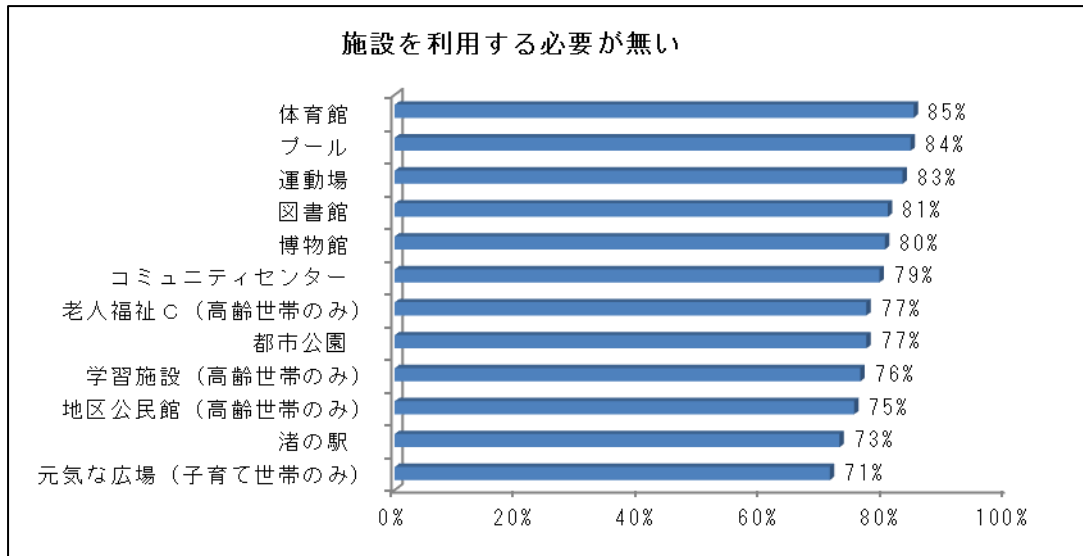
学習等供用施設（高齢世代のみ）

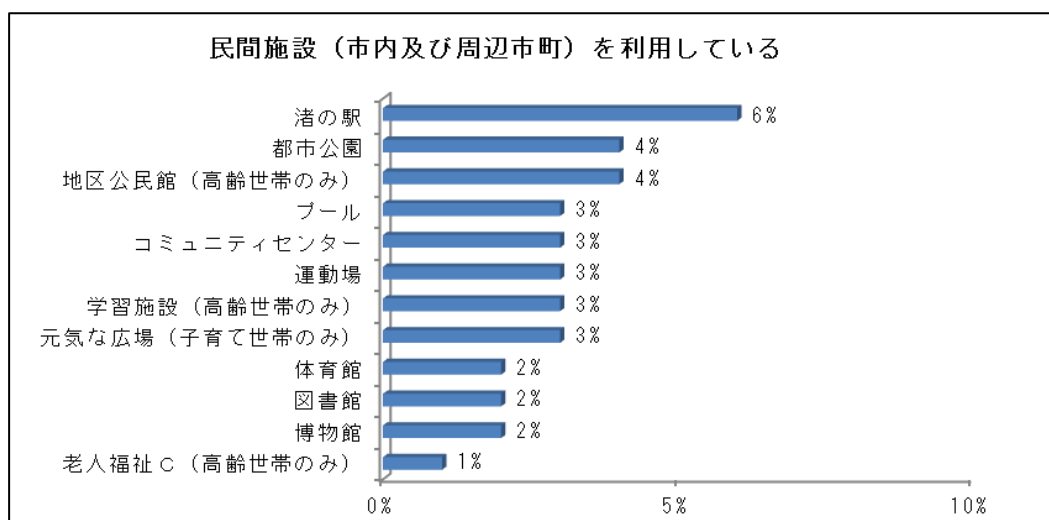
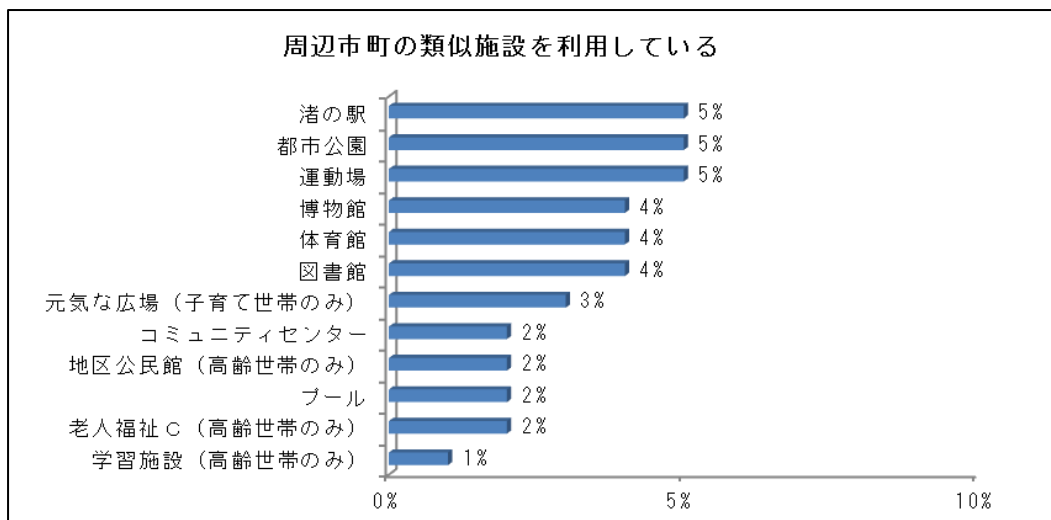


老人福祉センター（高齢世代のみ）



■■■ 回答結果 (理由別集計)





【 分析結果 】

- 「利用する必要がない」が、全ての施設について70%を超過しており、全施設平均すると、78%となる。よって、市民全体の約68%（※）については、現状の公共施設について日常生活においてそれほど必要としていないことが窺える。

※ 施設を利用しない世帯平均値 86.5%（問7-1）×

利用する必要がない平均値 78.0%（問7-2） = 67.5%

- 次に多く回答されているのが「施設の存在・サービス内容を知らない」で、8%～20%の間で推移している。

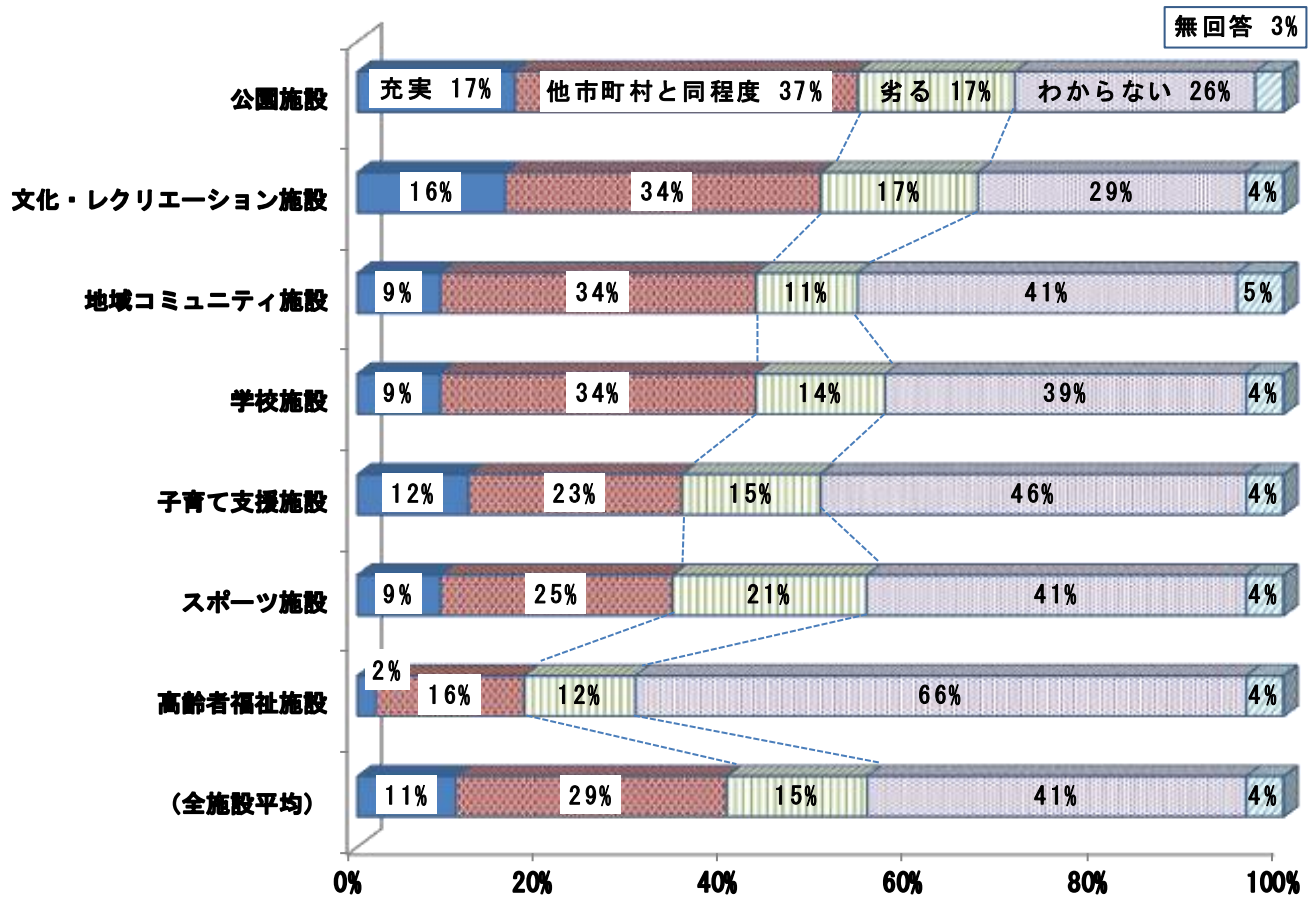
特に、生涯学習やサークル活動など地域コミュニティの活動拠点施設となる、コミュニティセンター（17%）・老人福祉センター（14%）・学習等供用施設（13%）については、施設を主として利用する高齢世帯に限った数値においても、他施設と比較して高い数値となっている。

- また、「サービスに不満がある」の項目については、低い数値ではあるが、図書館・“渚の駅”たてやま・博物館の3施設について、他施設と比較して高くなっている。

(3) 市の公共施設の現状

【問8】 館山市の公共施設の数や規模は、他の市町村に比べて充実していると思いますか。あなたの考えにもっとも近い番号を1つ選んで数字に○をつけてください。

■■■ 回答結果（施設の充実度が高い順 ※「充実」「他市町村と同程度」の合計）



【分析結果】

■ 「充実」又は「他市町村と同程度」が最も多く選択されたのは、①公園施設（54%）②文化レクリエーション施設（50%）③地域コミュニティ施設・学校施設（43%）となっており、これらの施設について、市民の約半数は、施設規模について満足していると推測できる。

■ 一方「わからない」の回答が、全施設平均で約4割となっており、回答者の多くは、公共施設について、他市町村と比較して課題点等の有無等の関心が薄いものと考えられる。

(4) 今後の公共施設のあり方

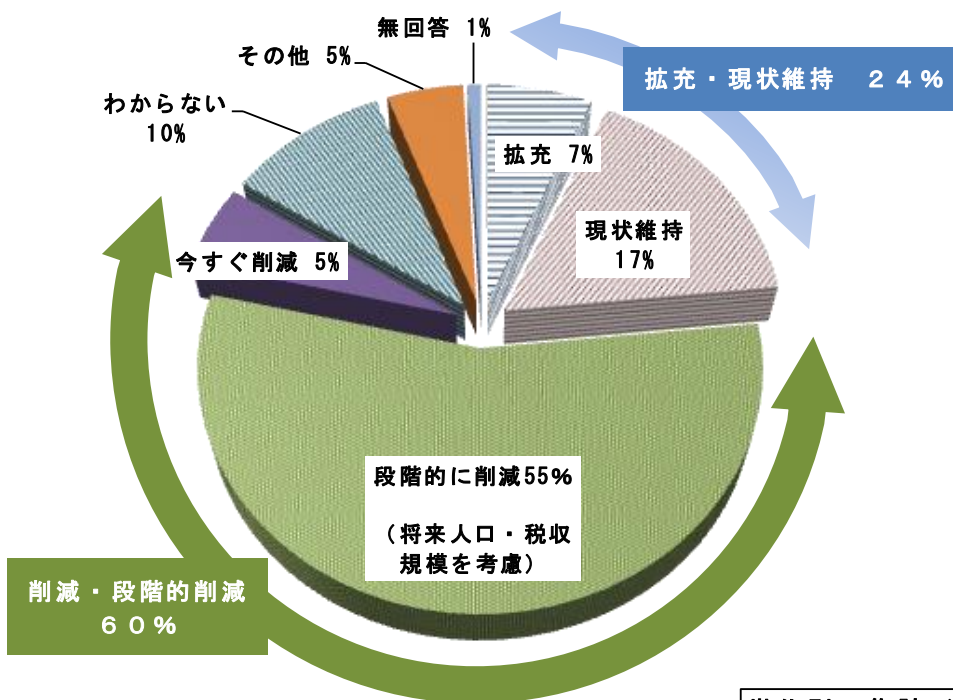
【問9】 市の公共施設全体の約8割が建築から30年を経過し、近い将来、改修・建替に多くの費用が必要となります。また、少子高齢化や人口減少により、これまで以上に厳しい財政状況を迎えることが予測されます。

今後の公共施設の全体的な施設数・規模について、どのようにしていくべきと考えますか。あなたの考えにもっとも近い番号を1つ選んでください。

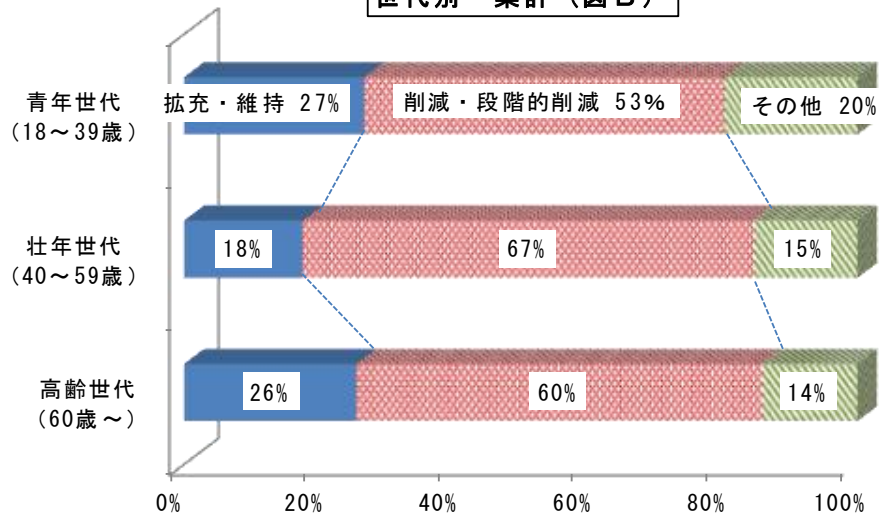
(設問趣旨) 公共施設全体の『今後の方向性』を問う、最重要の設問であり、今後作成する「公共施設等総合管理計画」における根幹部分を作成するための市民意識を分析するための項目

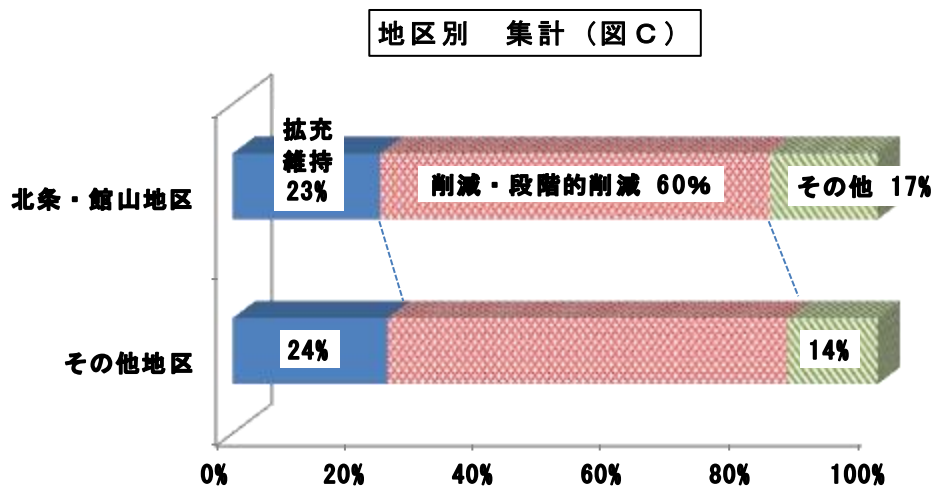
■■■ 回答結果

全世代・全地区 合計 (図A)



世代別 集計 (図B)





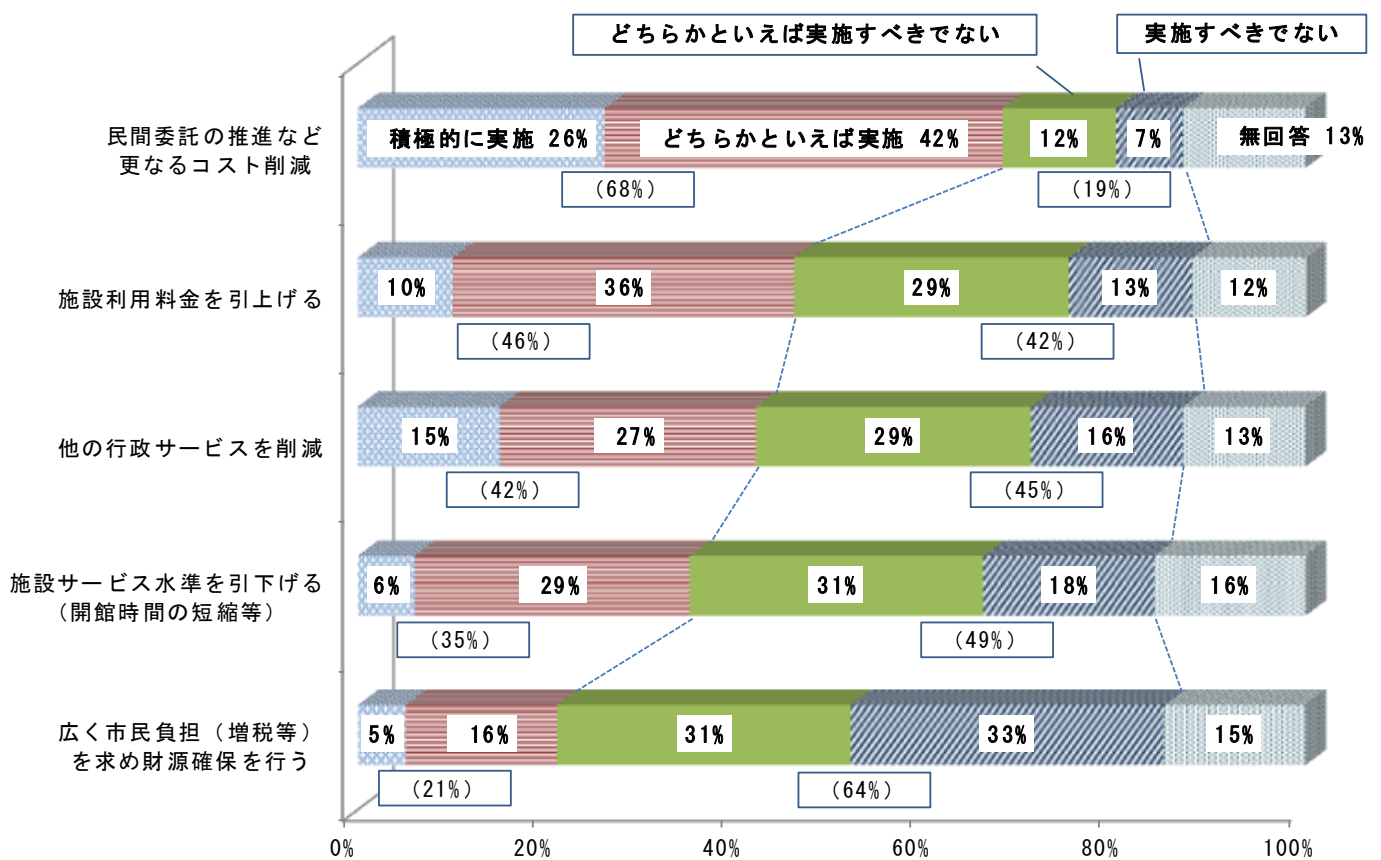
【 分析結果 】

- 「今すぐ削減」及び「将来人口や税収規模に見合った量まで段階的に削減」が、最も多く選択され、全体の60%となっている。
- 世代別（図B）の分析では、各世代の過半数以上が、「削減すべき」との意見を持っていることがわかり、壮年世代（40～59歳）では、約2／3が「削減すべき」との意見である。
- 地区別（図C）の分析では、北条・館山地区・その他地区共に、ほぼ同意見であることがわかる。
- 「その他の意見」の主なもの
 - ・ 利用者の少ない施設、市民のニーズにマッチしていない施設は統廃合を進め、充実すべき施設に注力すべき。
 - ・ 民間に貸し出すなど活用方法を考えるべき。
 - ・ 自宅から最寄りの公共施設が削減されると、施設に通う交通手段がなくなる（または現在すでに交通手段がない）

【問10】 問9で「施設を増やす」又は「維持すべき」を選択した方のみについて伺います。限られた財源の中で、施設を増加又は維持させるため、どのような取り組みをすべきだと思いますか。あてはまる番号をそれぞれ1つだけ選んで下さい。

(設問趣旨) 今後の人口減少社会・厳しい財政状況が予測されるなか、公共施設を「拡充」「現状維持」すべきと考える市民は、『どのように財源を生み出すべき』と考えているのかを分析するための設問

■■■ 回答結果 (回答対象者数：165人 ※実施すべき施策順)



【分析結果】

- 実施すべき施策として一番多く選択されたものは、「民間委託の推進などコスト削減を図り、必要な財源を確保する」であり、約70%の市民が、実施すべき施策としている。
- また、「施設利用料を上げ財源確保する」が約半数の市民が“実施すべき”と答えた一方で、「増税など広く薄く市民負担を求める」は、約2/3の市民が“実施すべきでない”との意見であり、総括すると、『施設を利用する人が応分の利用料を負担すべき』と読み取れる。

■ 「その他の意見」の主なもの

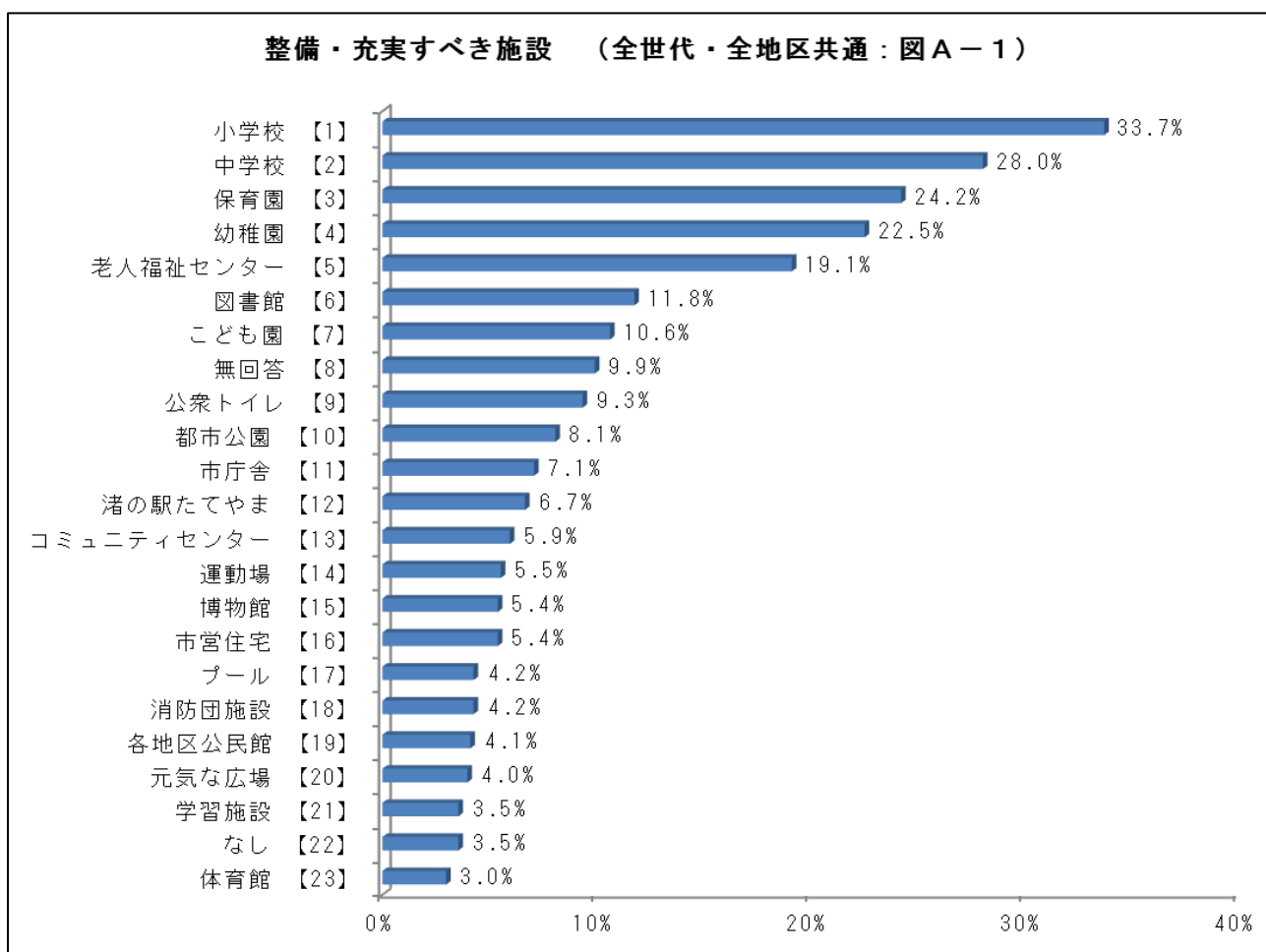
- ・ 行政の税金の使い方に無駄がないか洗い出すべき。
- ・ 施設削減の前に、職員・議員の人件費を削減すべき。
- ・ 施設のために市民全体に増税するのではなく、施設利用者に負担を転嫁させるべき。

【問 1 1】個別の施設に対する考え方について伺います。

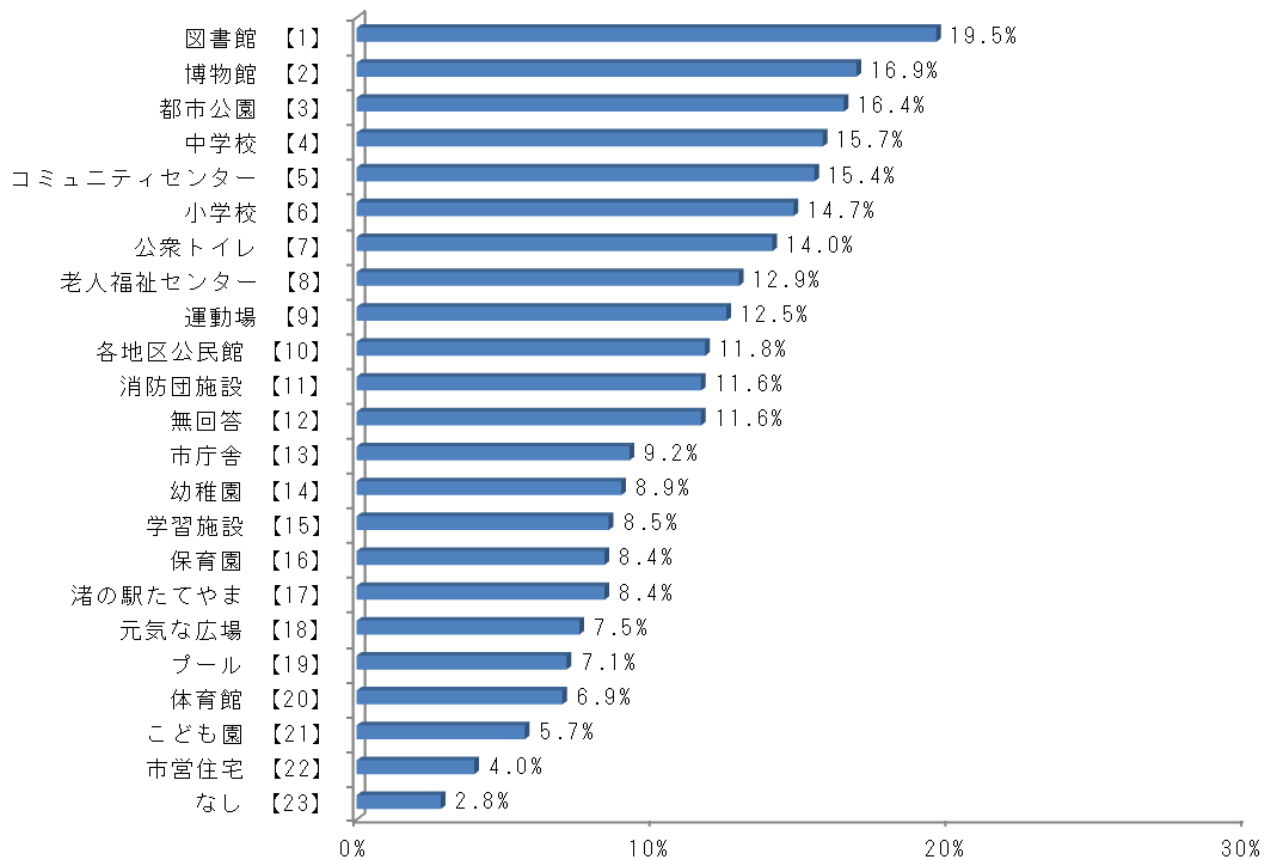
- ① 『優先的に予算を配分し、整備・充実する方がよいと考える施設』
- ② 『このまま維持していくべきと考える施設』
- ③ 『削減（廃止等）した方がよいと考える施設』

あてはまる番号をそれぞれ最大3つまで選んでください。

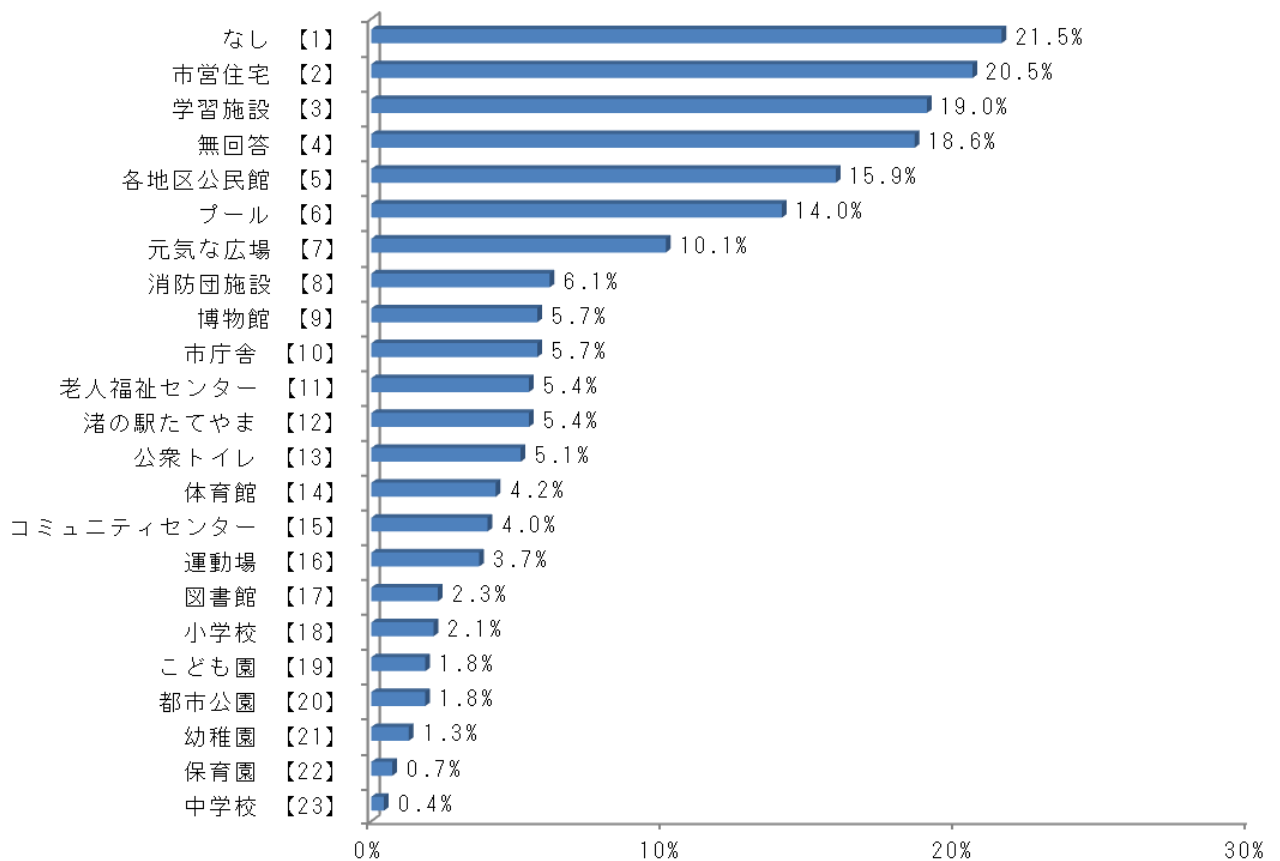
■■■ 回答結果（※ 回答率の高い施設順）



現状維持すべき施設 (全世代・全地区共通：図A-2)

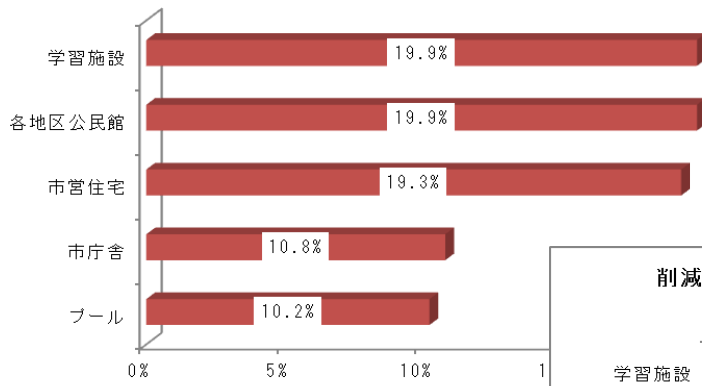


削減・廃止すべき施設 (全世代・全地区共通：図A-3)

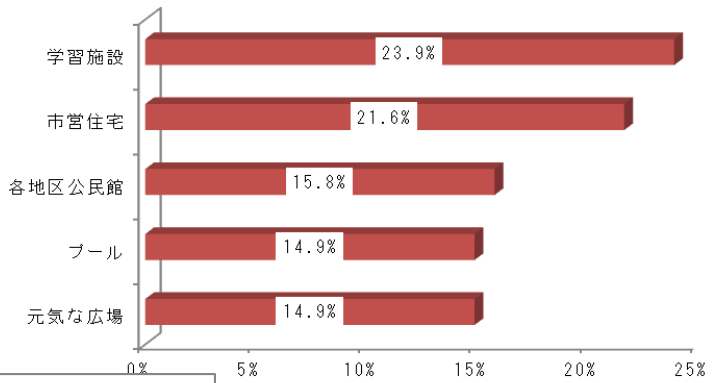


『世代別』『地区別』上位回答の5施設

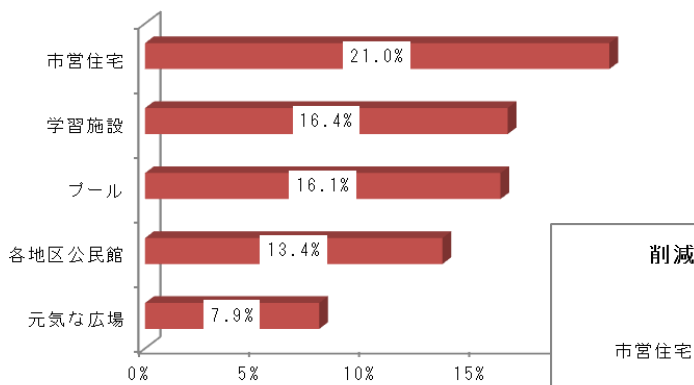
削減・廃止すべき施設 【青年世代（～39歳）】



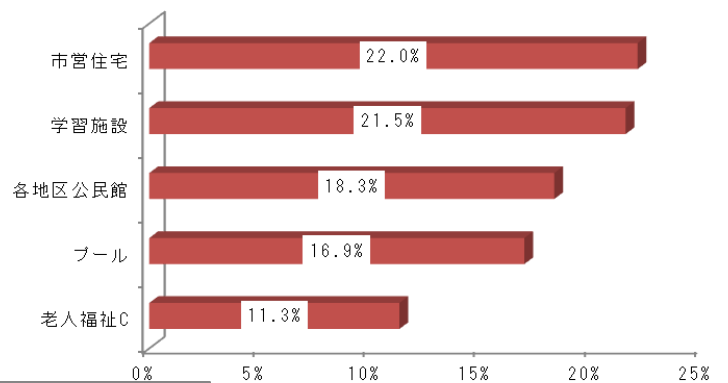
削減・廃止すべき施設 【壮年世代（40～59歳）】



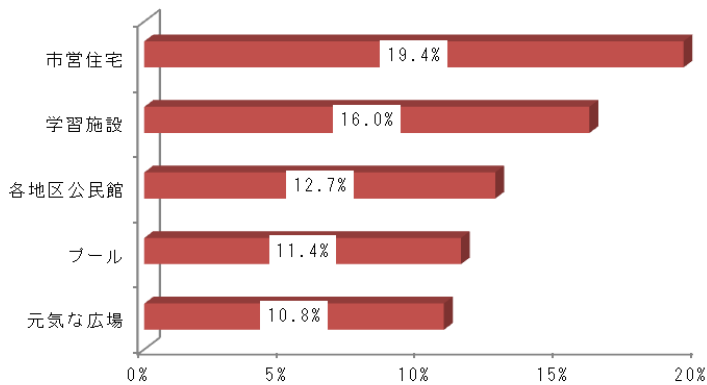
削減・廃止すべき施設 【高齢世代（60歳～）】



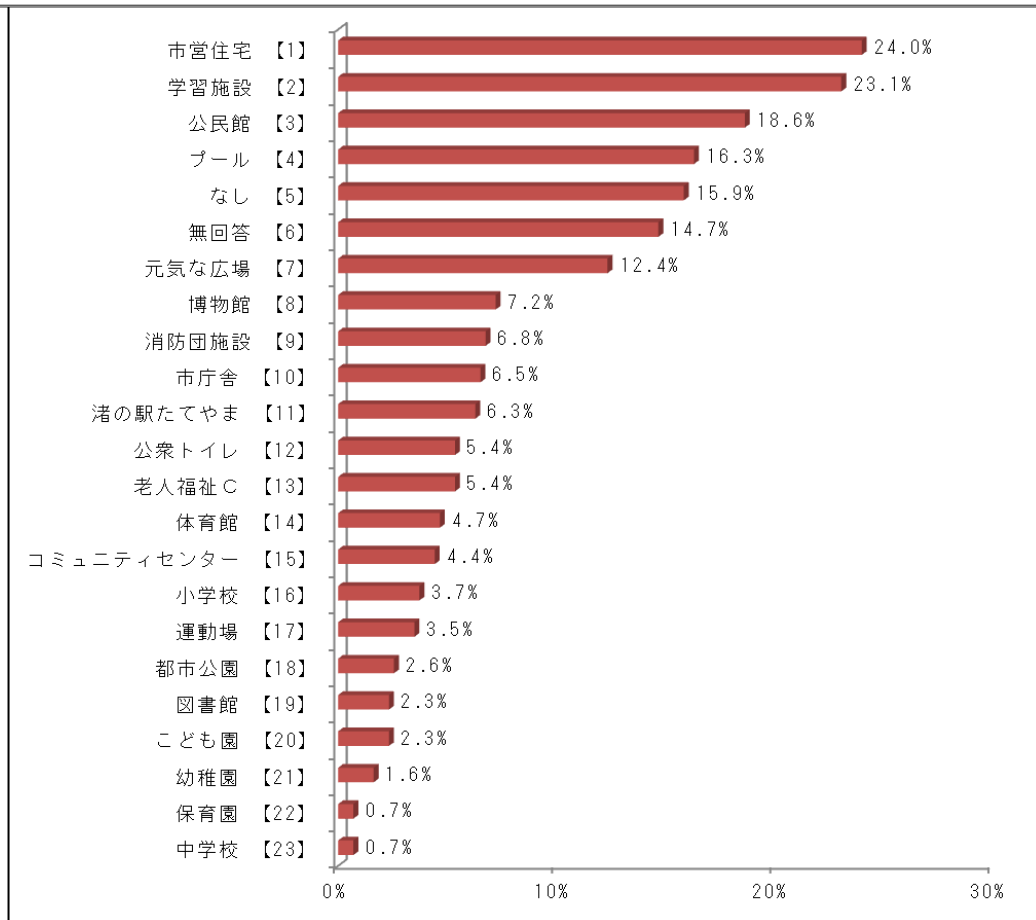
削減・廃止すべき施設 【中心地区（館山・北条）】



削減・廃止すべき施設 【郊外地区（館山・北条以外）】



【問9】にて『施設全体を削減すべき』との回答者（429名）の削減すべき施設名



【分析結果】

- 「整備・充実すべき」と考える施設では、上位が「①小学校」「②中学校」「③保育園」「④幼稚園」となっており、回答者の多くが館山市の未来を担う子どもたちへの投資を求めていることがわかる。
- 「現状維持すべき」と考える施設では、上位が「①図書館」「②博物館」「③都市公園」「⑤コミュニティセンター」となっており、市民の文化活動の拠点となっている施設が多くを占めている。
- 「削減・廃止すべき」と考える施設では、上位が「①なし」「②市営住宅」「③学習施設」「④無回答」「⑤地区公民館」となっている。

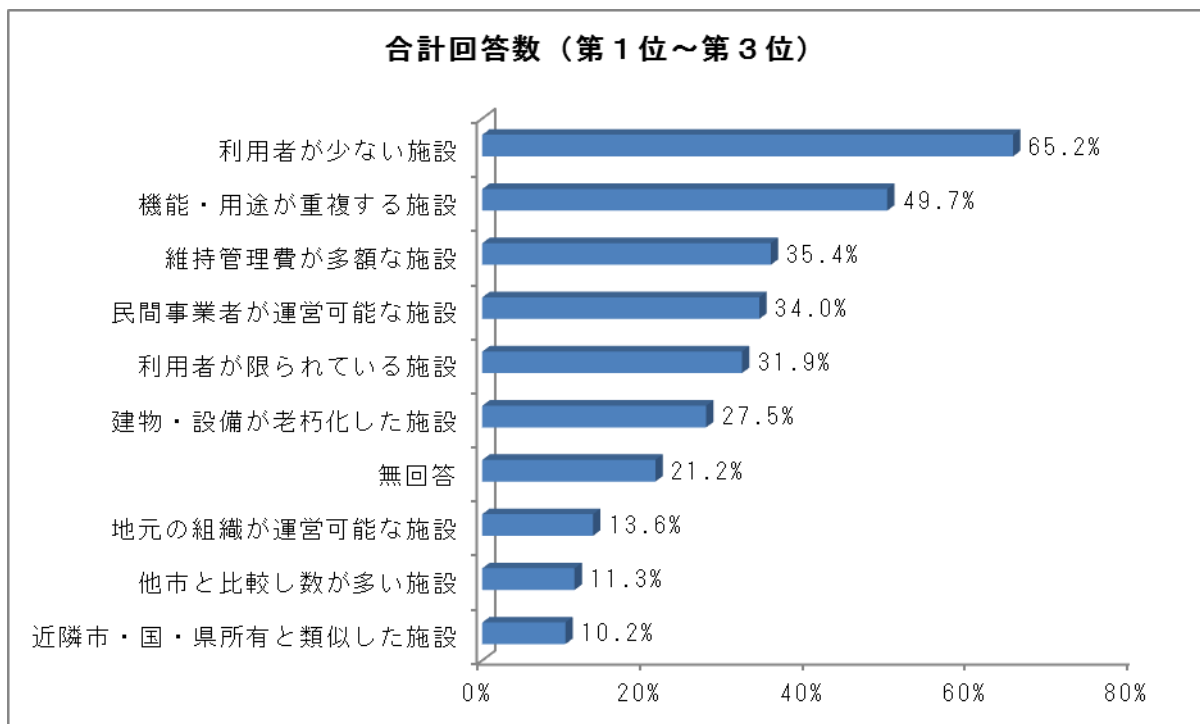
「①なし」「④無回答」との回答が上位を占めており、“どの施設を削減すべきか”との直接的な設問に対し、『明確な答えを出せない』又は『施設は削減すべきだと思う（問9：削減支持＝全体で60%）が、具体的な施設名を選択することに躊躇』している現状が推測できる。

また、「②市営住宅」「③学習施設」「⑤地区公民館」との回答が上位を占めたのは、「使用者が限定される」又は「機能が類似・重複している」施設を、削減すべきと考えていることが推測できる。

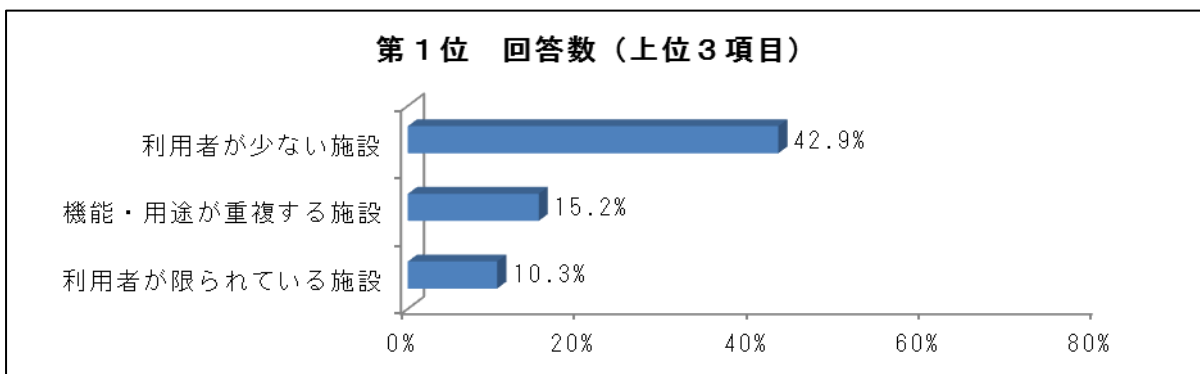
【問 1 2】 既存の公共施設を削減（廃止等）しなければならない時には、どのような施設（視点）から行うべきと思いますか。あなたの考えにもっとも近い順に、第 1 位～第 3 位を選択して下さい。

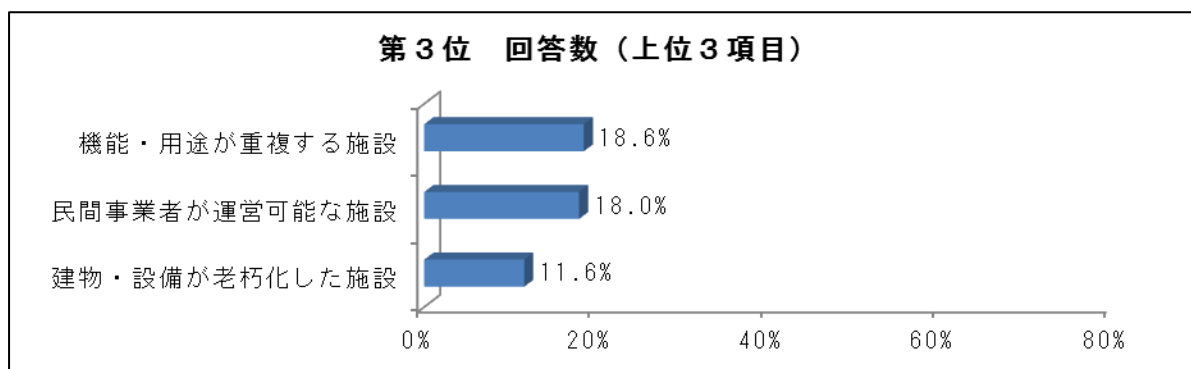
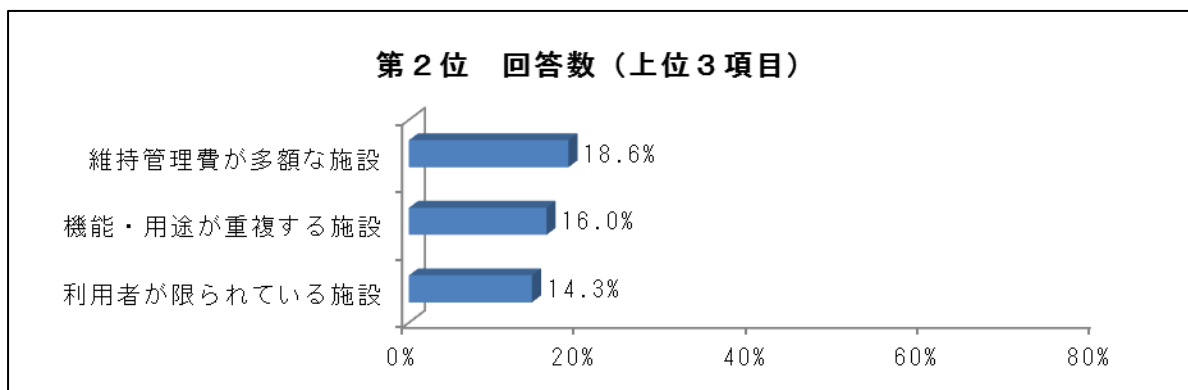
（設問趣旨） 『公共施設等総合管理計画』において、施設削減を行う場合の基本的な考え方（目安）を整理するために市民意識を分析する項目

■■■ 回答結果（※ 回答率の高い順）



【 優先順位別 回答数 】





【 分析結果 】

- 「利用者が少ない（今後少なくなると予測される）施設」が最も多く、全体の約2／3の市民が削減すべき視点と考えている。

具体的に「利用者が少ない（少なくなる）施設」として考えられる施設としては、少子高齢化に伴う「小学校」又は現状定員割れの実態が多い「幼稚園」、人口減少地区における「地区公民館」などが挙げられる。

- また、「維持管理費が多額な施設」が、全体で3番目、優先順位別の第2位では、最多の回答となっており、利用実態にかかわらず、維持管理費が多額な施設を廃止すべきとの認識があることも窺える。

具体的に「維持管理費が多額な施設（1施設当たり※一般財源ベース）」としては、保育園・こども園（年間1施設：約6千万円）であり、次いで図書館（約5千万円）、渚の駅たてやま（約3千万円）の順である。

- 「その他の意見」の主なもの

- ・ 全ての選択肢が大切な視点である。
- ・ 高齢化が進むなか、町内会に任せるのは無理ではないか。 など

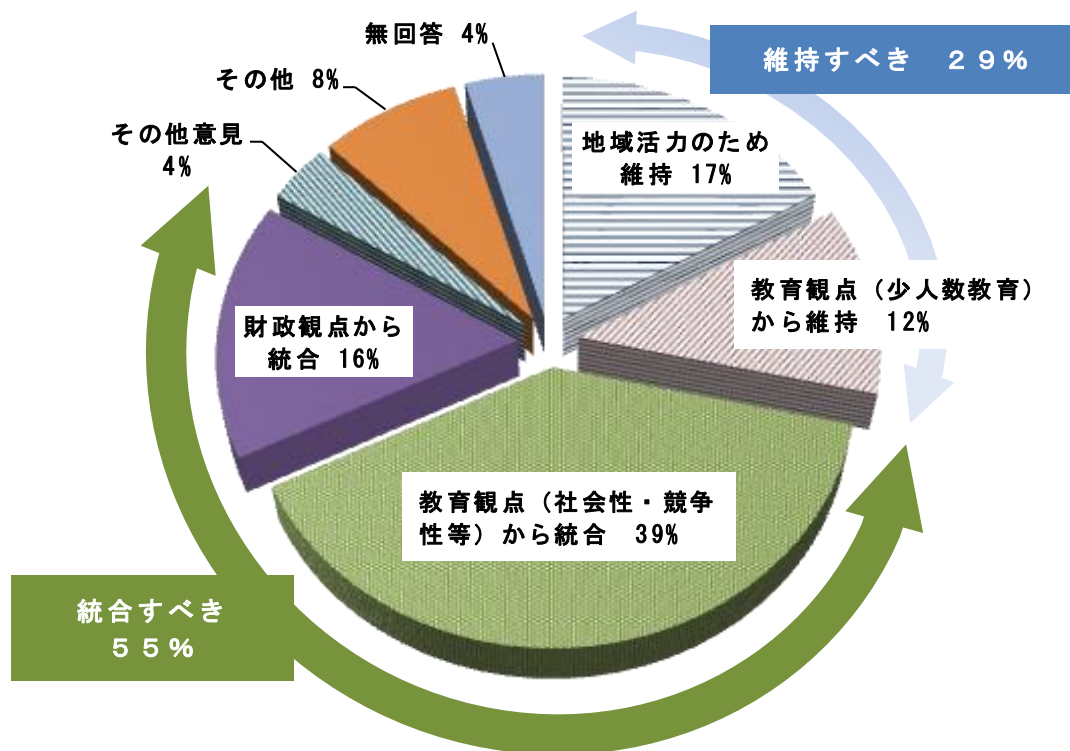
【問13】 現在、館山市内には、幼児・児童・生徒の通っている学校施設（幼稚園・保育園・こども園・小学校・中学校）が各地区にあります。学校施設は地域コミュニティの中心となる重要な拠点ですが、少子化により子どもたちは、今後ますます少なくなると予想されます。

学校施設に関するあなたの考えに最も近い番号を1つ選んで下さい。

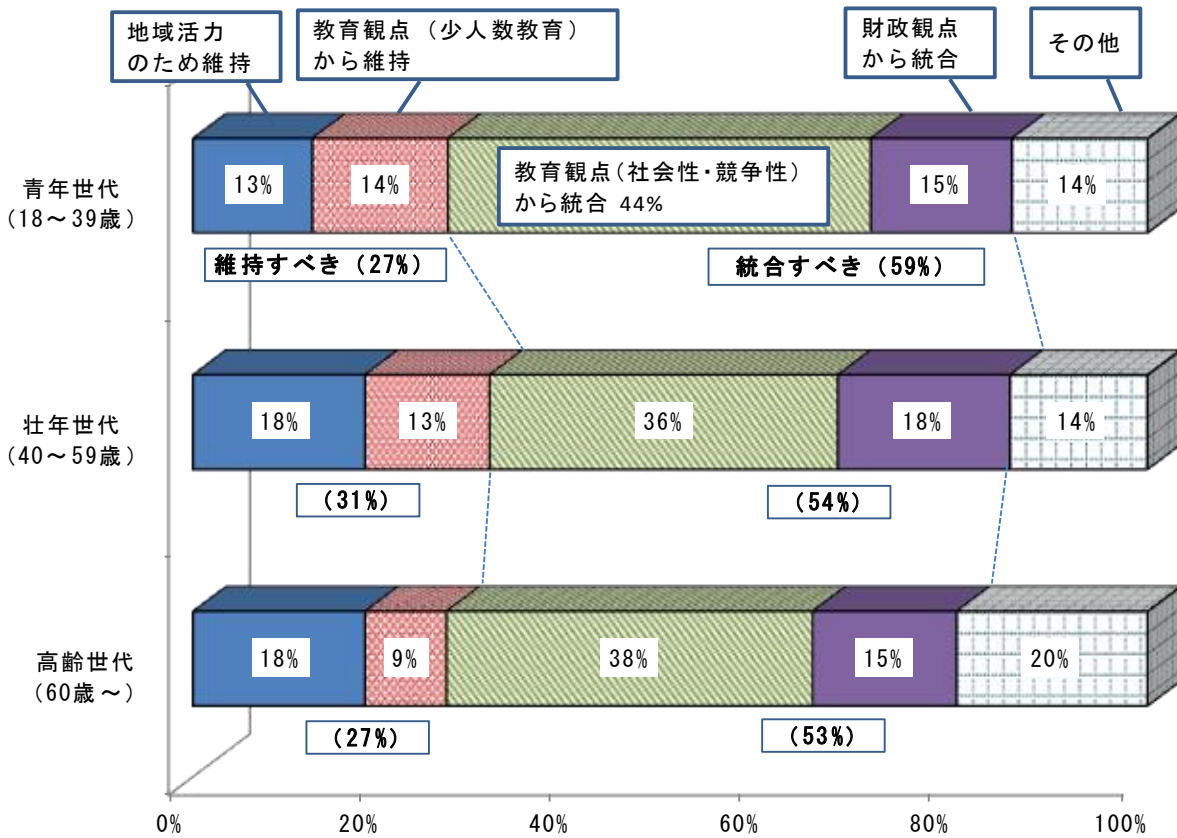
（設問趣旨） 公共施設の面積のうち、小中学校が約50%を占め、その維持管理について多額な費用を要している。今後の人口減少社会・厳しい財政状況が予測されるなか、不特定多数の市民は、『学校施設はどうあるべきか』との意識を分析するための設問

■■■ 回答結果

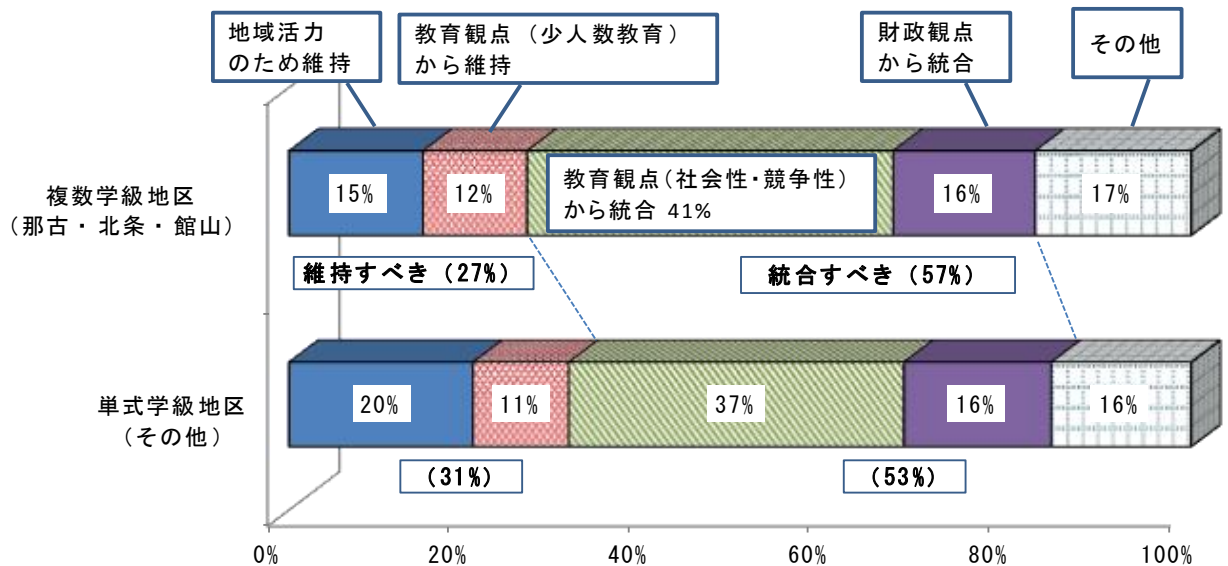
全世代・全地区 合計（図-A）



世代別 集計 (図B)



地区別 集計 (図C)



【 分析結果 】

■ 「統合すべき(教育観点・財政観点)」との意見は、合計回答・世代別・地区別全てにおいて過半数を超過している。世代別で見ると、青年世代が約60%と最も多く、年齢を重ねるほど統合意見が少なくなっていることがわかる。

また、地区別集計では、現状にて小規模学校を有する地区では、中～大規模学校を有する地区と比較して、統合すべきとの意見が少なくなっている。

- 「統合すべき」とした理由では、「社会性・教育性をはぐくむ教育観点」からの支持が、「財政負担の軽減」より2倍以上多くなっている。
- 「維持すべき」とした意見は、全体の約3割となっており、世代間でのばらつきは少なくなっている。
- 「その他の意見」の主なもの
 - ・ 「統合には同意できるが、交通手段を確保すべき」との意見が多数あり。
 - ・ 「財政面からではなく、地域や子どもの状況、学校機能の充実等多角的に考慮して統合するかしないかを判断すべき」 など

【問14】 今後の館山市の公共施設のあり方について、ご要望・提案及びご意見がありましたら記述してください。（自由記述）

- 公共施設に関する意見の他、観光・福祉・産業・環境等、市政全般に対する意見が多数寄せられた。

特に、「夏季の海岸駐車場有料化」、「観光客からのごみ収集料金の徴収」等が目立った。また、「公共施設の在り方を考える前に、市職員や議員の給与や数を減らすべき」、あるいは「市の支出全体を見直すべき」との厳しい意見も多数あった。

- 自由記述欄に寄せられた意見は以下のとおり。

※ 公共施設やその運営について記載されたものを中心に掲載し、一部の意見については、要約や適宜語句を補うとともに、同内容の意見については集約しています。

【 公共施設の統廃合・今後の利活用 】

- 公共施設自体不要
- 公共施設は2箇所程度に集中化すべき。広報は月1回発行に、町内会費も値下げできるはず。
- 利用の少なくなった施設等は早急に削減を進め、高齢者を対象とするコミュニティバスの充実に移行していかなければ、交通事故増加と買い物難民増加が懸念される。海辺周辺の施設は有料化を検討できないか。そうすることで高齢者の雇用が生まれないか。

- 老朽化や修理費のかさむ施設等はなくしても仕方ない。今現在活用している人もやがては利用できなくなる。将来予測や現状を知ってもらうと気持ちの変革ができる。アンケートに接し初めて現状を知った。
- 利用者の少ない施設や特定の人に利用されている施設、維持管理に多額の費用がかかる施設は、淘汰されても仕方ない。利用者数のデータを取って適切に管理して頂きたい。
- 維持が困難なら無理してまで維持する必要はない。今後、市民負担の増加により転出する人が多くなれば、財政はもっと厳しくなる。災害時の優先順位も考えて、削減してもらいたい。
- 市民にとって「ないよりあった方がよい施設」を見直し、「なくてはならない施設」を優先すべき。民間委託・指定管理についても推進を。
- 無駄と思われる公共施設は市が思っている以上に多すぎる。消防施設を減らして警察施設を増やせば、地域住民にとって安心で済みやすい都市として人口減少の手助けとなると考える。
- 維持・管理費がかかる施設については民間に売却したほうがよい。
- 地域や地区ごとの特徴を把握し、必要・不必要、維持、小規模統合や削減を行ってほしい。市民に負担をかけないやり方をお願いしたい。
- 公共施設の重要度を、特定団体に偏重しないようにして整理し、市の目指すべき方向性を考慮して仕分けを行うことで公平性・妥当性を担保した結論に辿りつくと思う。それにより市民が理解しやすい表現を行い、不満解消と合意形成が実現でき、良いまちづくりに繋がると思う。
- 老朽化のため建替えが必要な施設があると思うが、建替えが難しい場合でも統合等により機能は残るようにしてほしい。
- 安全上、今すぐ問題にある施設でなければ、民間に貸し出す等、放置したために使えなくなるということを防いでほしい。
- 利用者が少なくても利用する人の生活が豊かになるのであれば残したい。利用者の満足度が高ければ館山の良さが伸びていくのではないか。各地区公民館を拠点にボランティア活動が組織できないか。
- 公共施設はコミュニティ形成・高齢者・弱者にとって必要だが、人口減少・老朽化・財源不足など維持が大変だと実感した。いろいろな機能を持たせ、共同で維持管理できるような仕組みができれば。学校に公民館を入れるとか。南房総市は公民館等の廃止により、サークルなどが活動しづらくなったと聞いている。公共施設の活用・あり方を再検討してほしい。
- 古い施設でも利用者が必要としている施設は改修しながら続けるべき。福祉に収入を求めるのはおかしい。介護保険を使わないよう元気な高齢者を増やすべき。他の市町に比べ館山市は生活保護がもらいやすいという声を多く聞く。削減するならこちらが先では。
- 利用者が少なくとも、地域に住んでいる高齢者にとって不便になるのであれば残すべき。施設を廃止するなら地元の意見を聞いてから。

- 老朽化しているからといってすぐに解体するのではなく、改良して違う目的に使うことを考えて。わざわざ新しいものを建てる事をしないで工夫しては。それを観光等にも使えばいいと思う。
- 学校・図書館といった教育施設は出来るだけ削減しないほうがよい。
- 公共施設の一部（運動場・体育館・プール）は、市外の人や団体に積極的に利用してもらっては。小中学校と学習施設・図書館・公民館・老人福祉センターを統合、空き教室を地区の利用にまわす等。

【 公共施設への交通手段 】

- 市の中心部に施設を集中しすぎる事は避けるべき。集中させるのであれば、交通の便を良くしてほしい（バス等）。
- 公共施設の利用には交通機関が必要。自家用車がない者は利用できない。
- 公共施設に関心はあるが、運転ができない。交通手段があれば。
- 高齢化により市役所まで足を運ぶことが困難になると思われるので、公民館などを活用した遠隔地サービスをお願いしたい。若い人がずっと住み続けられるようにこども園なども充実を。市の経営を見直すコンサルタントの雇用、ふるさと納税の見直しを。

【 学校施設の統廃合について 】

賛成意見

- 神余小学校は児童数や立地等から廃止してよいと思う。今後、少子高齢化が更に進むと思うが、高齢者施設と同様に学校・子育て支援施設も充実させて欲しい。観光地として注目されている館山なので、海岸周辺の公衆トイレをもう少し増やしても良いのでは。公民館・学習施設・高齢者施設の存在は知っているが、使い方がわからない。
- 神余小学校の今後に関しては、地域コミュニティ・他校とのバランスから早めの検討が必要。老後のみならず子育てしやすい施設の充実、子どもたちが育った時誇れる施設・地域づくりを期待
- 子供の教育を考えると、神余小はデメリットのほうが大きい。少人数であるがゆえに指導要領にそった教育ができない。また社会性をはぐくむためにある程度の人数が必要。子どものためにならないことを地域の高齢者の声でやり続けてよいのか。
- 人数の少ない学校は統合すべき。元気な広場は小学生まで入れる施設にしては。
- 学校により人数にあまりにも差がある。低学年の時はいいと思うが、学年が上がっていくとどうかと思う。大人になって都会で生活していくとき、どうなるかと心配
- 1学年に1クラスしかないような学校は統合し、他地区の子どもたちと交わるこ

とで視野が広がるのでは。ただしスクールバスで全生徒が通えるようにすべき。東京から移住してきて、こちらの「おらが村」意識に驚かされる。

- 同封参考資料のようなデータをもっと市民に知らせるべき。知らずに深刻に考えていない人が多数のはず。明らかに子どもの数が減っていくことがわかっているのだから、少人数の学校は統廃合すべき。通学が遠方で困難な人はスクールバスを利用すればよい。アンケートの結果はどこかで公表されるのか。働く場所がないのも問題。企業誘致を。
- 自動車所有者が多いので用途重複施設は統廃合、利用者の少ない施設は廃止・規模縮小、小学校も統合しスクールバスを運行してはどうか。
- 小学校を統合させた際はスクールバス・バスの無償化等津学支援をしっかりとしてほしい。
- 小・中学校を半数にして、地域施設として利用してはどうか。
- 小学校の空き部屋を利用し、保育・介護しては。集約すると良いこともあるのでは。人件費・施設管理費・光熱費、削減できないか。

反対・慎重

- 学校・社会教育施設は地域のよりどころ。地域のまとまりの象徴でもある。財政面で運営が難しいのは理解できるが、中心部優先の多数決的判断はやめてほしい。

【 学校施設の改修・設備について 】

- 南房総市の中学校はどんどん良くなっているのに館山市はまったく変わらない。部活動の設備にもこんなに違いがあるのかと愕然とする(テニスコート・野球場)。子どもがかわいそう。
- 南房総市の小学校にくらべ施設の老朽化・備品が少ないと感じる。子どもたちの教育水準をあげられるようどうしたらいいのか、なぜ手が回らないのか、何にお金が使われているのか見当がつかない。公共施設についてよりよい方向への改善を早急にしてほしい。
- 第三中学校は館山市の代表的な中学校。改修工事するなら増税してもよい。
- 北条学区の小・中学校で老朽化している施設を改築してほしい。館山運動公園の外トイレを市でできれば水洗にしてほしい。
- 学校のトイレをきれいにしてほしい
- 学校・幼稚園等の駐車場を改善してほしい。ぼこぼこで雨が降ると水だらけになり、利用しにくい。

【 子育て関連施設（幼・保・こ・元気な広場）について 】

- こども園が早く始まるようにしてほしい。共働き世帯を充実させることで財源確保につながる。
- 自宅で子育てしている親の支援施設がほしい。元気な広場の充実など、子育て施策の充実。
- 預かり保育や子どもの居場所づくりの充実
- 4月から1歳児クラスの保育園へ入所。第一希望ではない園。児童数が一番多い北条学区内、就学前まで預かる保育園が私立で2園。北条学区内での公立園、またはこども園化は考えてないのか。
- 館山市では子ども2人同じ保育園に入れなかったのが白浜まで通っている。館山は学童が少なく驚いた。もっと子どもたちの生活しやすい環境を作してほしい。
- 少子化に対する対策はとぼしい印象にある。子供がいても働ける、館山で育児したいと思える施設の増設や対策をしてほしい。
- 館山市内の幼稚園には夕方（17時～18時くらい）までの預かり保育がなく、ファミリーサポーターを利用していた。金銭的にも送迎も大変で、登園も8:45～と厳しい条件でした。これほど子育てしながら働くことが困難な町は初めて。
- 土日を含め共働きする家庭が多いので休日でも子供が安心して遊べる施設を希望します。アスレチックとか。施設に民間業者に来てもらい、フード販売し場所代をもらう、施設運営向上のため、寄付箱設置
- 元気な広場にブランコや大きめの滑り台があるとよい。砂場の砂が少ない。みなさん優しく、安心して遊ぶことができる。
- 元気な広場は何度か利用したが、一部徒党を組むお母さんたちのせいで非常に居心地の悪い思いをした。利用者が少ない原因ではないか。スタッフがきちんと見守るべき。現状のままなら無くてよい施設。
- 北条幼稚園は子供の人数を考えた園舎とは思えない。給食センターも本当に必要な規模を考えているのか。

【 高齢者化への施設面での対応について 】

- 高齢者が増えていくので、地域の暮らしに密着した施設を高齢者の憩いの場に置き換えてもらえれば。
- 健康維持のため、市として多くの市民にプールの利用を呼びかけ、健康教室をすべき。高齢者が多いのでこういうところにお金を使うべき。
- 公園に高齢者が運動する施設がない。ハコモノは全部壊してみてもは。
- 高齢者に利用しやすい施設・環境・運営方法を、高齢者の方々に聞いてみて。
- 高齢化が進み財政難になると思われるが、子どもたちへの施設は充実させてほしい。

- 新たに建替えを行うなら、防災・津波等対策を含めてほしい。着工していないものも見直して。高齢者はこれから増えるが、一時的なもの。安易な建替えはさけるべき。

【 市庁舎について 】

- 市庁舎・消防団等災害時の拠点はしっかり整備すべき。市庁舎に災害時用の大型バッテリーをつけられないか。施設の維持費がかかるからといって安易に人件費をカットすべきではない。職員のモチベーションがさがる。
- 市役所はもっと広い場所に移し防災拠点とすべきではなかったか。3階建てでは災害時の緊急避難場所に使えない。学校等教育施設を災害に強く地域の防災拠点として利用できるようにすべき。館山市はビジョンがない。
- 市庁舎を新設すべき。市民を守るために指揮をする場所。頭になるところは最も重要。他が全部被災しても市庁舎だけは残る位のことを考えて。

【 社会教育施設について 】

- 生涯教育のため、公共施設を充実させてほしい。無料は無理なので安価な利用料で。
- コミュニティセンターなどは一部が人に使用し、高齢者には行くのが不便。市の職員、もう少し減らしては。
- コミュニティセンター等で市職員が駐在しているが、民間等に移譲し職員数も市民の数に比例して減らすべき。
- コミュニティセンター・図書館・博物館の機能維持と複合施設化、高齢者施設と保育園等の複合化を検討しては。民間委託は、方向が逆。コミュニティバスの導入検討。
- 各地区公民館を活用して60歳以上の人を対象に毎週運動を行い、医療費の削減につなげる。
- 博物館が3か所必要か、検討すべき。
- 館山城の天守閣は歴史的にはなかったものと聞いて、恥ずかしい思いでいっぱいになった。館山市が嫌いになりそう。あれはぜひ取り壊してほしい施設。あんな嘘を子どもに見せてよいのか。建替えの際には史実にあった建物でお願いしたい。
- 今までの施設を維持してほしい。博物館の資料は館山の歴史・伝統を伝え後世に残す大切な財産。もっと人を集める企画があったらと思う。
- 博物館の展示を見るのが好きなので、もっと充実してほしい。渚の駅にペッパーがいた時は、子供がうるさく最悪だった。どうしてあんな必要のないものを置いたのか不思議。今は市役所に移ってよかった。

- 図書館が1箇所しかなく残念。充実させてほしい。返却場所も駅や公民館、イオン等に設けては。
- 図書館は民間が運営し成功している地域がある。雨の日に子どもと「じゃあ図書館に行こうか」と言える施設であってほしい。
- 図書館が古く、蔵書が少なすぎる。学校図書館のようで見すばらしい。
- レクリエーション施設の中身をもっと充実させ、館山市の魅力をわかりやすく伝えるべき。図書館・博物館に魅力を感じない。中身を若者向けに変更する。若者が館山に残れるよう企業等を増やしてほしい。
- 自由に使えるお金が少ない中、図書館で本を貸してもらえたり温水プールで体を動かせることが大切な時間。どうか必要としている人がいることを理解してほしい。
- 図書館の貸し出し禁止図書を緩和し、閲覧室をもっと広くしてほしい。
- 移住者だが、図書館の蔵書の少なさに驚かされた。施設だけでなく、内容の充実も必要。図書館の利用者も少ないので、読書の大切さを若いお母さんに啓蒙する必要がある。

【 観光施設（渚の駅たてやま・館山夕日栈橋・北条海岸）について 】

- 目先の観光収入が優先されている。もっと教育施設・施策に力をいれるべき。北条海岸の開発は費用対効果が出ていない。
- 渚の駅・夕日栈橋・水族館、魅力がなく中途半端で税金の無駄遣い。クルーズの誘致を推進してほしい。
- 渚の駅たてやまの取り扱い商品を多くしてほしい、商品知識のあるスタッフを配置してほしい
- 渚の駅たてやま商業施設棟（レストラン）に対する不満あり。
- 渚の駅や城山公園に行っても空き缶入れのボックスはあるが、ごみ箱がない。その為か色々なところにビニール袋が置き去りになり、汚いイメージ。
- 渚の駅たてやまは建設費に見合った収入・観光客入込があるのか（市の運営でなくても疑問）
- 栈橋はなくすべき。さかなクンにもう少し協力してもらい、さかなクングッズを作って売り、財源の一部にできないか。さかなクンは館山のことを大事に思っている。
- 北条海岸・夕日栈橋等大規模工事に巨額の税金を使用して、市民のためになっていない。民営化できるものはする、子どもを持つ世代が安心して住める環境整備を。
- 夕日栈橋、庁舎エレベーター、費用に対する効果が得られていないのでは。施設に付随する駐車場が狭い。利用者の視点から施設を考えてほしい。
- 30年以上前に申請され今は必要ないであろう道路を造るなど、意味のないことに多くの出費をしている。観光推進もできていない。渚の駅も何か違う。

- 渚の駅たてやまをよく利用し、出品物や営業方法に一般業者の知恵を感じる。夕日栈橋は本当に必要なのか。市民が直接利用できる施設に公費を使ってもらいたい。
- 公共施設を災害時に使用するときのため、雨水・発電設備などを検討すべき。特に渚の駅の津波対策を考えるべき。

【 公共施設の周知について 】

- 公民館やコミュニティセンターの活用方法を知らない人が多い。広報などを使ってもとってもらえるようにすべき。
- 一部の人だけで利用したり認知度の低かったりする施設のアピール、人件費の見直し等問題はたくさんある。
- 自分は公共施設を知らないので利用していない。知っていても人それぞれに利用する・しない理由がある。どこでどのように利用できるか知らないなので、そこからアピールしてほしい。
- 施設が活用できていないのは今の子供たちが利用できる施設があることを知らないからでは。知るための企画を行ったり、ボランティアをしたりすれば身近なものになり、利用率もあがるのでは。幼児教育の施設が重要。母親目線で行政・企画・子育てを大切にしてくれれば、出生率、館山の教育の質があがり、館山の魅力も上がるのでは。
- 市の公共施設のほとんどを知らず「暮らしの便利帳」を頼りに諸施設に行ってみたが教育施設を除いても半分も行けなかった。施設には案内もないものが多く、近所の方に聞いても何が行われているのか不明だった。市民への周知・ガイダンスとともに、乗り合いタクシー等交通の確保も大事だと思う。
- 公共施設の概要がわからない。施設の営業時間等が知りたい。子どもの遊ぶ場所がない。
- 館山市在住40年以上になるが公共施設の使用の仕方・役割がよくわからない。もっと住民に気軽に使ってもらえるような工夫が必要では。

【 アンケートの実施について 】

- 公共施設を利用したこともなく、アンケートの意味がわからない。
- アンケート結果・議員・市の意見を市の広報に載せてほしい。アンケートに対する議員と市のコメントが欲しい。そのうえで公共施設の在り方について行政の方向性を示してほしい。
- アンケートは税金の無駄ではないか。回答はだいたい想像できるはず。
- 厳しい財政状況の中、公共施設を維持か削減（廃止）かという二択を迫られるようなアンケート。地域に根差してこそその公共施設なので削減・廃止した場合、子ど

もや高齢者・遠方の人が施設をどのように利用していったらよいか考えてほしい。サービス・利便性が低下⇒利用者が少なくなる⇒廃止となるのは本来の考え方ではない。

- 今まで10年暮らしてきたが公共施設はほとんど変化が感じられなかった。人口が減る一方で、今まで出来なかったことがこれからも出来ると期待できないため、このアンケートも無駄な気がする。
- 今後の施設の在り方はどのような都市づくりをするかによって決まるので、施策の在り方が先ではないか。都市計画によって充実・拡大、整理・縮小が決まってくる。問11~12の提示された施設の70%がわからない。問13は提示されたデータ以外、学校をとりまく環境がわからず回答できない。
- このようなアンケートをとっても、見るだけ見て検討するつもりがないことを知っている。

【 その他 】

- 子どもたちが休日に出かけられる施設や参加できるイベント、大人には日曜大工教室など企画してはどうか。母の介護をしていて時間がとれず行けませんが、地元の公民館活動の情報は楽しみで時間があえば参加したい気持ちは大きい。
- 館山は雨の日遊ぶ場所がない。公共施設で作って欲しい。
- 駐車場をきれいにしたのはよいが、少しでも料金を取った方がよい。ゴミの山。城山の花見の時、大型バスだけでも料金を取った方がよい。市民の負担を少しでも少なくしてほしい。
- 城山公園駐車場から山頂の駐車場までの道路は狭く、歩行者と自動車が共有し危険。車両通行は全て禁止し、モノレールのような施設を作ってほしい。無理なら車両と歩行者のルートを分離したほうがよい。
- どの施設も駐車場がない。城山も沖ノ島も市民のためなのか誰のために良くするのかで、何をどうするのか違ってくる。
- 車社会であるため、公共施設には相応の駐車場を整備すべきである。
- 公衆トイレがとても汚い。
- 民間業者を入れても、いくつか種類のあるプールをつくるべき。ドッグラン・ペットOKの施設がなさすぎる。北条学区に市営住宅をつくるべき。ひとり親家庭への家賃援助。
- 新規に良い条件のもと維持管理してきた市が、財政窮乏・老朽化を理由に民間に投げ出す行為。作る時は先のことなど考えず、責任をもって仕事にあたる役人はおらずでは困る。公共施設のありかたについてまずは公務員ひとりひとりに意見を述べてもらいたい。
- 暖かなのんびりとしたところで子育てしたいと思うような環境にすれば、人口も少しは増加するのでは。働く場所の確保も必要。現存の公共施設の所在や機能が分

からない。周知して。津波・非常時の対策や避難施設が必要。安全で住みやすい館山を建設してほしい。

- 民間の手法を取り入れたもっと効率のよい運営方法、観光施設は物販等を行い、収入を増やすべき。空いている施設を積極的に民間に使ってもらおう。どうしたら人が集まるかよく考えて欲しい。公共施設を減らす前にまず市職員を減らすべき。民間に比べたら3分の1に出来るのでは。人口を増やそうとする市の施策が全然ない。子供を産み育てたいと思える施策が早急に必要。保育士を増やすこと。
- 施設の削減等の前に、現在ある予算の削減（規模縮小）を考え、その施設にあった活用をし、利用者を増やして欲しい。他地域からも魅力がある館山市の施設を作ってほしい。
- 老人ホーム増設・コミュニティの充実・保育施設の拡充、空き教室の活用、北条海岸駐車場の有料化。
- 市民の多くが顔を出しやすいコミュニティの場や、地元の体験ができ、観光客・子供が楽しめる様な場があるとよい。
- 高齢者を楽しませるのもよいが、今の地代公共施設は観光客にとって充実した施設にすべき。海をテーマにもっと集客を。フラメンコも遠い世界のもの。一般人が気楽に参加でき、予算もかからないものを。北条海岸、ジェットスキーが危ない。
- 外でバスケット等遊べる施設がほしい。スターバックスをつくってほしい。城まつりで山車等が出る日を二日間にすればもっと観光客が来ると思う。
- 東京に出て、館山が若者にとっていかに住みにくいところだということ。電車が時間に一本というのはあまりにも少なすぎ、帰宅困難。学生や会社員、観光客が時間をつぶすカフェやファストフード店が駅周辺にないので、駅前の施設の充実と電車の車両を増やしても運行本数を増やしてほしい。
- 県・国の補助をうまく活用できるよう要望。都市公園はあるが、その地区に在住していないと活用が困難。市全体の方が活用できるような公園がほしい。
- 人口減少をとめるために必要な公共施設は何かを考えてください。